



Cisco IOS リリース 15.5(1)SY リリースノート

2023年3月21日

Catalyst 6500 シリーズ スイッチの一般的な製品情報については、<http://www.cisco.com/c/en/us/products/switches/catalyst-6500-series-switches/literature.html> を参照してください。

このマニュアルの最新バージョンは、次の Cisco.com から入手できます。

http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/switches/lan/catalyst6500/ios/15-4SY/release_notes/release_notes.html
リリース 15.5(1)SY4 の新機能 (54 ページ)



注意

Cisco IOS は、スーパーバイザエンジンが同一である冗長構成をサポートします。スーパーバイザエンジンが同一でない場合、片方が最初に起動されてアクティブになり、もう一方がリセット状態で保留されます。

目次

このマニュアルの内容は、次のとおりです。

- リリースの時系列リスト (3 ページ)
- サポート対象ハードウェア (3 ページ)
- サポートされていないハードウェア (49 ページ)
- イメージとフィーチャセット (51 ページ)
- EFSU の互換性 (51 ページ)
- Cisco IOS の動作の変更 (51 ページ)
- リリース 15.5(1)SY11 の新機能 (52 ページ)
- リリース 15.5(1)SY10 の新機能 (52 ページ)
- リリース 15.5(1)SY9 の新機能 (52 ページ)
- リリース 15.5(1)SY8 の新機能 (53 ページ)
- リリース 15.5(1)SY7 の新機能 (53 ページ)
- リリース 15.5(1)SY6 の新機能 (53 ページ)



Americas Headquarters:
Cisco Systems, Inc., 170 West Tasman Drive, San Jose, CA 95134-1706 USA?

- リリース 15.5(1)SY5 の新機能 (54 ページ)
- リリース 15.5(1)SY4 の新機能 (54 ページ)
- リリース 15.5(1)SY3 の新機能 (55 ページ)
- リリース 15.5(1)SY2 の新機能 (55 ページ)
- リリース 15.5(1)SY1 の新機能 (56 ページ)
- リリース 15.5(1)SY の新機能 (56 ページ)
- サポートされていない機能 (57 ページ)
- リリース 15.5(1)SY11 の制約事項 (57 ページ)
- リリース 15.5(1)SY10 の制約事項 (58 ページ)
- リリース 15.5(1)SY9 の制約事項 (58 ページ)
- リリース 15.5(1)SY8 の制約事項 (58 ページ)
- リリース 15.5(1)SY7 の制約事項 (58 ページ)
- リリース 15.5(1)SY6 の制約事項 (58 ページ)
- リリース 15.5(1)SY5 の制約事項 (58 ページ)
- リリース 15.5(1)SY4 の制約事項 (58 ページ)
- リリース 15.5(1)SY3 の制約事項 (58 ページ)
- リリース 15.5(1)SY2 の制約事項 (59 ページ)
- リリース 15.5(1)SY1 の制約事項 (59 ページ)
- リリース 15.5(1)SY の制約事項 (60 ページ)
- リリース 15.5(1)SY11 の不具合 (61 ページ)
- リリース 15.5(1)SY10 の不具合 (61 ページ)
- リリース 15.5(1)SY9 の不具合 (62 ページ)
- リリース 15.5(1)SY8 の不具合 (62 ページ)
- リリース 15.5(1)SY7 の不具合 (63 ページ)
- リリース 15.5(1)SY6 の不具合 (64 ページ)
- リリース 15.5(1)SY5 の不具合 (64 ページ)
- リリース 15.5(1)SY4 の不具合 (65 ページ)
- リリース 15.5(1)SY3 の不具合 (67 ページ)
- リリース 15.5(1)SY2 の不具合 (69 ページ)
- リリース 15.5(1)SY1 の不具合 (71 ページ)
- リリース 15.5(1)SY の不具合 (72 ページ)
- トラブルシューティング (73 ページ)

リリースの時系列リスト

延期されているリリースについては、「[イメージとフィチャセット](#)」セクション(51 ページ)を参照してください。

次に、15.5SY リリースの時系列のリストを示します。

- リリース 15.5(1)SY11:2023 年 3 月 21 日
- リリース 15.5(1)SY10:2022 年 9 月 17 日
- リリース 15.5(1)SY9:2022 年 3 月 17 日
- リリース 15.5(1)SY8:2021 年 9 月 16 日
- リリース 15.5(1)SY7:2021 年 3 月 18 日
- リリース 15.5(1)SY6:2020 年 9 月 18 日
- リリース 15.5(1)SY5:2020 年 3 月 18 日
- リリース 15.5(1)SY4:2019 年 9 月 12 日
- リリース 15.5(1)SY3:2019 年 3 月 27 日
- リリース 15.5(1)SY2:2018 年 9 月 17 日
- リリース 15.5(1)SY1:2018 年 3 月 8 日
- リリース 15.5(1)SY:2017 年 5 月 22 日

サポート対象ハードウェア

ここでは、リリース 15.5(1)SY 以降のリリースでサポートされているハードウェアについて説明します。

- [スーパーバイザエンジン、PFC、DFC、および CFC \(4 ページ\)](#)
- [40 ギガビット イーサネット スイッチング モジュール \(9 ページ\)](#)
- [10 ギガビット イーサネット スイッチング モジュール \(12 ページ\)](#)
- [Cisco Catalyst 6880-X シリーズ拡張可能な固定型アグリゲーション スイッチ \(20 ページ\)](#)
- [Cisco Catalyst 6840-X シリーズ固定型アグリゲーションスイッチ \(20 ページ\)](#)
- [Cisco Catalyst 6840-X シリーズ固定型アグリゲーションスイッチ \(20 ページ\) \(21 ページ\)](#)
- [Catalyst 6840-X スイッチの IA クライアント最大値 \(24 ページ\)](#)
- [10/100/1000 イーサネット スイッチング モジュール \(27 ページ\)](#)
- [Power over Ethernet ドーターカード \(31 ページ\)](#)
- [トランシーバ \(31 ページ\)](#)
- [サービスモジュール \(43 ページ\)](#)
- [シャーシ \(45 ページ\)](#)



(注) **show power** コマンドを実行して、現在のシステム電力使用量を表示します。

スーパーバイザエンジン、PFC、DFC、および CFC

- [Supervisor Engine 6T \(4 ページ\)](#)
- [Supervisor Engine 2T-10GE \(5 ページ\)](#)
- [サポートされるポリシーフィーチャカード \(6 ページ\)](#)
- [サポートされる分散型フォワーディングカード \(8 ページ\)](#)
- [集中型フォワーディングカード \(WS-F6700-CFC\) \(9 ページ\)](#)

Supervisor Engine 6T

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|--------------------------------|-----------------------|
| C6800-SUP6T | PFC4 搭載 Supervisor Engine 6T | 15.3(1)SY |
| C6800-SUP6T-XL | PFC4XL 搭載 Supervisor Engine 6T | |

機能

- 以下のポリシーフィーチャカードのいずれか:
 - ポリシーフィーチャカード 4XL (PFC4XL)
 - ポリシーフィーチャカード 4 (PFC4)
次を参照してください。付録「サポートされるポリシーフィーチャカード」
- 最大 6-Tbps のスイッチファブリック接続をサポートします。
- XL と非 XL 両方のスーパーバイザの 4 GB DDR3。
- 内部 4 GB eUSB (bootdisk:)
- 1 個の外部 USB タイプ A スロット (disk0:)
- 管理ポート。以下の両方をサポートしています。
 - RJ45
 - 次のトランシーバをサポートする SFP。
 - GLC-SX-MM
 - GLC-LH-SM
 - GLC-ZX-SM
 - GLC-SX-MMD
 - GLC-LH-SMD
 - GLC-EX-SMD
 - GLC-ZX-SMD
 - GLC-BX-U
 - GLC-BX-D
- コンソールポートは、次のバリエーションをサポートします。
 - RJ45 シリアル
 - USB ポートタイプ B

- 前面パネルのスーパーバイザ アップリンク ポート:
1Gb/10Gb Small Form Factor Pluggable Plus (SFP+) ポート X 8 (ポート番号は TenG 1 ~ 8)
40 Gb QSFP ポート X 2 (ポート番号は FortyG 9 ~ 10)
- スーパーバイザのスロットを次のように使用します。
 - 7 スロット 6807-XL シャーシ - スロット 3 および 4 (15.3(1)SY 以降)
- NVRAM: 4 MB
- 消費電力
 - 標準: 最大 341 W
 - XL: 最大 354 W
- 送受信キュー
 - デフォルト: 1p7q4t
 - 設定可能: 2p6q4t
- 詳細については、次のマニュアルを参照してください。
<http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/interfaces-modules/catalyst-6800-series-supervisor-engine-6t/datasheet-c78-736408.html>

Supervisor Engine 2T-10GE

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|-------------------------------------|-----------------------|
| VS-S2T-10G-XL | PFC4XL 搭載 Supervisor Engine 2T-10GE | 15.0(1)SY |
| VS-S2T-10G | PFC4 搭載 Supervisor Engine 2T-10GE | |

機能

- 以下のポリシーフィーチャカードのいずれか:
 - ポリシーフィーチャカード 4XL (PFC4XL)
 - ポリシーフィーチャカード 4 (PFC4)

「サポートされるポリシーフィーチャカード」セクション(6 ページ)を参照してください。
- 2-Tbps スイッチファブリック接続をサポートします。
- 2 GB DRAM。
- 内部 1 GB ブートフラッシュ (**bootdisk:**)。
- 1 つの外部スロット:
 - **disk0:**
 - Supervisor Engine 2T-10GE で使用する、米国シスコで販売されている CompactFlash Type II フラッシュ PC カード用。
- コンソール ポート:
 - EIA/TIA-232 (RS-232) ポート
 - USB ポート

- ポート1、2、および3:
 - QoS アーキテクチャ:**2q4t/1p3q4t**
 - ポート 1、2、および 3:ギガビットイーサネット SFP(ファイバ SFP または 1000 Mbps RJ-45 SFP)
- ポート 4 および 5:
 - 10 ギガビットイーサネット **X2** トランシーバをサポート
 - QoS アーキテクチャ:
 - ポート 1、2、および 3 が有効な場合:**2q4t/1p3q4t**
 - ポート 1、2、および 3 が無効な場合:**8q4t/1p7q4t**
- 1 ポートグループ:ポート 1 ~ 5



(注) 10/100/1000 Mbps RJ-45 ポートの詳細については、『[Supervisor Engine 2T-10GE Connectivity Management Processor Configuration Guide](#)』を参照してください。

- 接続管理プロセッサ (CMP)。以下のマニュアルを参照してください。
http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/switches/lan/catalyst6500/cmp_configuration/guide/sup2T_10GEcmp.html

Supervisor Engine 2T-10GE の制限事項

- **platform qos 10g-only** グローバル コンフィギュレーション コマンドで 1 ギガビットイーサネット ポートをディセーブルにした場合を除き、1 ギガビットイーサネット ポートと 10 ギガビットイーサネット ポートの QoS ポートアーキテクチャ (**2q4t/1p3q4t**) は同じです。1 ギガビットイーサネット ポートをディセーブルにした場合、10 ギガビットイーサネット ポートの QoS ポートアーキテクチャは **8q4t/1p7q4t** です。
- RPR 冗長モードでは、スタンバイモードの Supervisor Engine 2T-10GE 上のポートはディセーブルです。

サポートされるポリシーフィーチャカード

- [ポリシーフィーチャカード 4 のガイドラインと制限事項 \(6 ページ\)](#)
- [ポリシーフィーチャカード 4XL \(8 ページ\)](#)
- [ポリシーフィーチャカード 4 \(8 ページ\)](#)

ポリシーフィーチャカード 4 のガイドラインと制限事項

- PFC4 は、118,000 個 (115.2K) の MAC アドレスを推奨最大値として、MAC アドレスの理論上の最大値 131,072 個 (128K) をサポートします。
- PFC4 は、ハードウェアの FIB テーブルをパーティションに分割して、IPv4 ユニキャスト、IPv4 マルチキャスト、MPLS、および IPv6 ユニキャストとマルチキャストトラフィックをハードウェアでルーティングします。ハードウェア FIB テーブルにエントリがないルートのトラフィックは、ソフトウェアのルートプロセッサによって処理されます。

XL モードのデフォルトは次のとおりです。

- IPv4 ユニキャストおよび MPLS:512,000 ルート
- IPv4 マルチキャストおよび IPv6 ユニキャストとマルチキャスト:256,000 ルート

非 XL モードのデフォルトは次のとおりです。

- IPv4 ユニキャストおよび MPLS: 192,000 ルート
- IPv4 マルチキャストおよび IPv6 ユニキャストとマルチキャスト: 32,000 ルート



(注) グローバルインターネットルーティングテーブルとローカルルート(存在する場合)のサイズは、非 XL モードのデフォルトのパーティションサイズを超えることがあります。

次に、サポートされるプロトコルの理論上の最大ルート数を示します(最大値は同時にはサポートされません)。

- **XL モード:**
 - IPv4 および MPLS: 最大 1,007,000 ルート
 - IPv4 マルチキャストおよび IPv6 ユニキャストとマルチキャスト: 最大 503,000 ルート
- **非 XL モード:**
 - IPv4 および MPLS: 最大 239,000 ルート
 - IPv4 マルチキャスト、IPv6 ユニキャストおよびマルチキャスト: 最大 119,000 ルート

platform cef maximum-routes コマンドを実行して、ハードウェア FIB テーブルを再パーティション化します。IPv4 ユニキャストおよび MPLS には、ルートごとに 1 つのハードウェア FIB テーブルエントリが必要です。IPv4 マルチキャスト、IPv6 ユニキャスト、およびマルチキャストには、ルートごとに 2 つのハードウェア FIB テーブルエントリが必要です。1 つのプロトコルのパーティションを変更すると、他のプロトコルのパーティションで対応する変更が行われます。**reload** コマンドを実行して、**platform cef maximum-route** コマンドで行った構成の変更を有効にします。



(注) 非 XL モードシステムでは、ハードウェア FIB テーブルを再パーティション化しても要件を満たすことができない場合は、必要に応じてコンポーネントをアップグレードし、XL モードで動作させます。

- 冗長性を確保するために、一方のスーパーバイザエンジンで 1 つのタイプの PFC を実行し、もう一方のスーパーバイザエンジンで別のタイプの PFC を実行することはできません。同一のポリシーフィードバックカードを使用する必要があります。
- PFC4: PFC4 と DFC を使用した構成には、次の制限が適用されます。
 - PFC4 と DFC4: 制限はありません(PFC4 モード)。
 - PFC4 と DFC4XL: PFC4 によって DFC4XL の機能が制限されます。DFC4XL は DFC4 (PFC4 モード)として機能します。
- PFC4XL: PFC4XL と DFC を使用した構成には、次の制限が適用されます。
 - PFC4XL と DFC4: DFC4 によって PFC4XL の機能が制限されます。リロード後、DFC4 を搭載したモジュールを設置した状態で、PFC4XL は PFC4 (PFC4 モード)として機能します。
 - PFC4XL と DFC4XL: 制限はありません(PFC4 モード)。
- ブートアップ後に設置し、現在の PFC モードよりも制限された PFC モードが強制される DFC が搭載されているスイッチングモジュールでは、電源がオフのままになります。
- 現在の PFC モードよりもより制限された PFC モードが強制される DFC を搭載したスイッチングモジュールを使用するには、リポートする必要があります。

- PFC モードを表示するには、**show platform hardware pfc mode** コマンドを実行します。
- TCAM 使用率が合計使用率の 80% を超えているルートのチャーンが発生した場合に、FIB TCAM 例外がスローされることがあります。この制限は、XL ラインカード上の DFC TCAM に適用されます。IPv4 または IPv6 あるいは MPLS トラフィックの中継ルートに対して FIB TCAM 例外がスローされた場合、ルートは FIB にインストールされず、接続が影響を受けます。これにより、ソフトウェアのスイッチングによって CPU 使用率が上昇する場合があります。

ポリシーフィーチャカード 4XL

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|--|-----------------------|
| VS-F6K-PFC4XL | ポリシーフィーチャカード 4XL (PFC4XL) | |
| | 注 VS-F6K-PFC4XL= を使用して PFC4XL にアップグレード します。 | |
| | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.0(1)SY |
| | Supervisor Engine 6T で使用 | 15.3(1)SY |

ポリシーフィーチャカード 4

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|-------------------------------|-----------------------|
| VS-F6K-PFC4 | ポリシーフィーチャカード 4 (PFC4) | |
| | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.0(1)SY |
| | Supervisor Engine 6T で使用 | 15.3(1)SY |

サポートされる分散型フォワーディングカード

- [分散型フォワーディングカード 4XL \(9 ページ\)](#)
- [分散型フォワーディングカード 4 \(9 ページ\)](#)



注

- ポリシーフィーチャカード (PFC) および分散型フォワーディングカード (DFC) の制限については、「[サポートされるポリシーフィーチャカード](#)」セクション (6 ページ) を参照してください。
- DFC4 はスイッチングモジュールに搭載されているメモリを使用します。
- DFC の詳細については、次のマニュアルを参照してください。
http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/switches/lan/catalyst6500/hardware/Config_Notes/OL_24918.html
http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/interfaces-modules/catalyst-6500-series-Supervisor-engine-2t/data_sheet_c78-648214.html

分散型フォワーディングカード 4XL

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|------------------------------------|-------------------------------|-----------------------|
| WS-F6K-DFC4-EXL WS-F6K-DFC4-AXL | 分散型フォワーディングカード 4XL (DFC4XL) | |
| | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.0(1)SY |
| | Supervisor Engine 6T で使用 | 15.3(1)SY |

分散型フォワーディングカード 4

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|--------------------------------|-------------------------------|-----------------------|
| WS-F6K-DFC4-E WS-F6K-DFC4-A | 分散型フォワーディングカード 4 (DFC4) | |
| | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.0(1)SY |
| | Supervisor Engine 6T で使用 | 15.3(1)SY |

集中型フォワーディングカード (WS-F6700-CFC)

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|---------------------------------------|-----------------------|
| WS-F6700-CFC | CEF720 モジュールで使用する集中型フォワーディングカード (CFC) | |
| | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.0(1)SY |

40 ギガビット イーサネット スイッチング モジュール

- [Catalyst C6800-8P40G および Catalyst C6800-8P40G-XL \(9 ページ\)](#)
- [WS-X6904-40G-2T 4 ポート 40 ギガビット イーサネット スイッチング モジュール \(11 ページ\)](#)

Catalyst C6800-8P40G および Catalyst C6800-8P40G-XL

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|---------------------------------|-----------------------|
| C6800-8P40G | 8 ポート 40 ギガビットイーサネット QSFP モジュール | |
| C6800-8P40G-XL | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.5(1)SY |
| | Supervisor Engine 6T で使用 | 15.5(1)SY |

- C6800-8P40G および C6800-8P40G-XL はオーダー可能な製品 ID です。
- Cisco IOS ソフトウェア コマンドでは C6800-8P40G または C6800-8P40G-XL と表示されます。
- QoS アーキテクチャ
 - 受信:
 - 1p7q4t(デフォルト)
 - 2p6q4t(設定可能)
 - 送信:
 - 1p7q4t(デフォルト)
 - 2p6q4t(設定可能)
- ポート数:8
- ポートグループ:4
 - ポートグループごとに 2 つのポート
 - ポートグループ 1:1,3
 - ポートグループ 2:2,4
 - ポートグループ 3:5,7
 - ポートグループ 4:6,8
- パフォーマンスモード:あり、ポートグループ単位
- C6800-8P40G または C6800-8P40G-XL のいずれかを設置する前に、リリース 15.5(1)SY 以降にアップグレードします。
- サポート対象モード
 - C6807-XL の場合:
 - 8 ポート:オーバーサブスクリプション モード 2:1
 - 4 ポート:パフォーマンスモード 1:1
- 転送エンジンの数:2
- ポートバッファ
 - オーバーサブスクリプション モード:
 - ポートあたり 1000 MB(出力)
 - ポートあたり 3.9 MB(入力)
 - パフォーマンスモード:
 - ポートあたり 2000 MB(出力)
 - ポートあたり 7.8 MB(入力)
 - サポートされているトランシーバのリスト:
 - QSFP-40G-SR4
 - QSFP-40G-ER4
 - QSFP-40G-LR4
 - QSFP-40G-CSR4
 - QSFP-40G-SR-BD
 - QSFP-H40G-ACU7M
 - QSFP-H40G-ACU10M
 - QSFP-H40G-AOC1M
 - QSFP-H40G-AOC2M
 - QSFP-H40G-AOC3M
 - QSFP-H40G-AOC5M
 - QSFP-H40G-AOC7M
 - QSFP-H40G-AOC10M

QSFP-H40G-AOC15M
 QSFP-40G-SR4-S
 QSFP-40G-LR4-S
 WSP-Q40GLR4L

WS-X6904-40G-2T 4ポート 40ギガビットイーサネットスイッチングモジュール

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小ソフトウェアバージョン |
|--|-------------------------------|---------------|
| WS-X6904-40G-2TXL (WS-F6K-DFC4-EXL 搭載) | 4ポート 40ギガビットイーサネットモジュール | |
| | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.0(1)SY1 |
| WS-X6904-40G-2T (WS-F6K-DFC4-E 搭載) | Supervisor Engine 6T で使用 | 15.3(1)SY |

- WS-X6904-40G-2T および WS-X6904-40G-2TXL はオーダー可能な製品 ID です。
- 前面パネルには WS-X6904-40G というラベルが付いています。
- Cisco IOS ソフトウェアコマンドでは、WS-F6K-DFC4-E または WS-F6K-DFC4-EXL のいずれかか WS-X6904-40G が表示されます。
- ハードウェア抽象化層 (HAL) のサポートがあります。
- QoS ポートアーキテクチャ (Rx/Tx): **1p7q4t** または **2p6q4t/1p7q4t** あるいは **2p6q4t**
- デュアル スイッチ ファブリック接続:
 - ファブリックチャンネル #1: ポート 1 および 2 または 5 ~ 12
 - ファブリックチャンネル #2: ポート 3 および 4 または 13 ~ 20
- ポート数: 4 または 16
 ポートグループの数: 2
 ポートグループあたりのポート:
 - ポート 1 と 2 または 5 ~ 12
 - ポート 3 と 4 または 13 ~ 20
- dCEF2T。
- 3 スロットシャーシでは、**WS-C6503-E** ハードウェアリビジョン 1.3 以降でのみサポートされます。
- WS-X6904-40G を設置する前に、リリース 15.0(1)SY1 以降にアップグレードします (**「EFSU の互換性」セクション (51 ページ)** を参照)。
- 各ベイは、**CFP** トランシーバ (1 つの 40 ギガビットイーサネットポートをサポート) または **FourX** アダプタ (4 つの 10 ギガビットイーサネット **SFP+** トランシーバをサポート) をサポートできます。
- WS-X6904-40G でサポートされるモード (デフォルトモードはオーバーサブスクライブ):
 - 40 ギガビットイーサネット オーバーサブスクライブ モード:
 - 40 ギガビットイーサネットポート X 4
 - ポート 1 ~ 4
 - 10 ギガビットイーサネット オーバーサブスクライブ モード:
 - 10 ギガビットイーサネットポート X 16
 - ポート 5 ~ 20

- 混在 10/40 ギガビット イーサネット オーバーサブスクリプション モード:
 - 左側のベイ:
 - 40 ギガビット イーサネット ポート X 2(1 と 2)
 - または 10 ギガビット イーサネット ポート X 8(5 ~ 12)
 - 右側のベイ:
 - 40 ギガビット イーサネット ポート X 2(3 と 4)
 - または 10 ギガビット イーサネット ポート X 8(13 ~ 20)
- パフォーマンスモード:
 - モジュールまたはベイごとに設定可能:


```
no hw-module slot slot_number oversubscription [port-group port_group_number]
```
 - 左上のベイと右上のベイでサポートされます。
 - 次のいずれかの組み合わせ:
 - 40 ギガビット イーサネット ポート 1(左上のベイ)およびポート 3(右上のベイ)
 - 10 ギガビット イーサネット ポート 5 ~ 9(左上のベイ)およびポート 13 ~ 16(右上のベイ)
 - 左上のベイ:40 ギガビット イーサネット ポート 1 または 10 ギガビット イーサネット ポート 5 ~ 9
 - 右上のベイ:40 ギガビット イーサネット ポート 3 または 10 ギガビット イーサネット ポート 13 ~ 16
- 40 ギガビット イーサネット パフォーマンス モード、10 ギガビット イーサネット オーバーサブスクリプション モード:
 - 次のいずれかの組み合わせ:
 - 左上のベイ:40 ギガビット イーサネット ポート 1
 - 右側のベイ:10 ギガビット イーサネット ポート X 8(13 ~ 20)
 - 左側のベイ:10 ギガビット イーサネット ポート X 8(5 ~ 13)
 - 右上のベイ:40 ギガビット イーサネット ポート 3
- 40 ギガビット イーサネット オーバーサブスクリプション モード、10 ギガビット イーサネット パフォーマンス モード:
 - 次のいずれかの組み合わせ:
 - 左上のベイ:10 ギガビット イーサネット ポート X 4(5 ~ 9)
 - 右側のベイ:40 ギガビット イーサネット ポート X 2(3 と 4)
 - 左側のベイ:40 ギガビット イーサネット ポート X 2(1 と 2)
 - 右上のベイ:10 ギガビット イーサネット ポート X 4(13 ~ 16)
- WS-X6904-40G の詳細については、次のマニュアルを参照してください。
 - 『[40 Gigabit Ethernet on Cisco Catalyst 6500 Series Switches: How It Works](#)』
 - 『[40 Gigabit Ethernet Interface Module for Cisco Catalyst 6500 Series Switches Data Sheet](#)』

10 ギガビット イーサネット スイッチング モジュール

- [Catalyst C6800-8P10G、Catalyst C6800-8P10G-XL \(13 ページ\)](#)
- [Catalyst C6800-16P10G、Catalyst C6800-16P10G-XL \(14 ページ\)](#)

- Catalyst C6800-32P10G、Catalyst C6800-32P10G-XL (15 ページ)
- WS-X6908-10GE 8 ポート 10 ギガビットイーサネット X2 スイッチングモジュール (16 ページ)
- WS-X6816-10T-2T、WS-X6716-10T 16 ポート 10 ギガビットイーサネット銅線スイッチングモジュール (17 ページ)
- WS-X6816-10G-2T、WS-X6716-10G 16 ポート 10 ギガビットイーサネット X2 スイッチングモジュール (18 ページ)
- WS-X6704-10GE 4 ポート 10 ギガビットイーサネット XENPAK スイッチングモジュール (19 ページ)

Catalyst C6800-8P10G、Catalyst C6800-8P10G-XL

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|---------------------------------|-----------------------|
| C6800-8P10G-XL | 8 ポート 10 ギガビットイーサネット SFP+ モジュール | |
| C6800-8P10G | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.2(1)SY |
| | Supervisor Engine 6T で使用 | 15.3(1)SY |

- C6800-8P10G および C6800-8P10G-XL はオーダー可能な製品 ID です。
- Cisco IOS ソフトウェアコマンドでは、C6800-8P10G または C6800-8P10G-XL と表示されます。
- QoS アーキテクチャ
 - 受信:
 - 1p7q4t (デフォルト)
 - 2p6q4t (設定可能)
 - 送信:
 - 1p7q4t (デフォルト)
 - 2p6q4t (設定可能)
- ポート数: 8
- ポートグループ: 2
 - ポートグループごとに 2 つのポートセット
 - ポートグループ 1: 1、2、3、4
 - ポートグループ 2: 5、6、7、8
- オーバーサブスクリプション: 該当なし
- C6800-8P10G または C6800-8P10G-XL のいずれかを設置する前に、リリース 15.2(1)SY 以降にアップグレードします。
- サポート対象モード
 - C6807-XL の場合: 8 ポート: ラインレート 1:1
 - Catalyst 6500-E の場合: 8 ポート: ラインレート 1:1

- 転送エンジンの数:1
- ポートバッファ
 - ポートあたり 500 MB(出力)
 - ポートあたり 2.5 MB(入力)

Catalyst C6800-16P10G、Catalyst C6800-16P10G-XL

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|----------------------------------|-----------------------|
| C6800-16P10G-XL | 16 ポート 10 ギガビットイーサネット SFP+ モジュール | |
| C6800-16P10G | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.2(1)SY |
| | Supervisor Engine 6T で使用 | 15.3(1)SY |

- C6800-16P10G および C6800-16P10G-XL はオーダー可能な製品 ID です。
- Cisco IOS ソフトウェアコマンドでは、C6800-16P10G または C6800-16P10G-XL と表示されます。
- QoS アーキテクチャ
 - 受信:
 - 1p7q4t(デフォルト)
 - 2p6q4t(設定可能)
 - 送信:
 - 1p7q4t(デフォルト)
 - 2p6q4t(設定可能)
- ポート数:16
- ポートグループ:2
 - ポートグループごとに 2 つのポートセット
 - ポートグループ 1:
 - 1、2、3、4
 - 5、6、7、8
 - ポートグループ 2:
 - 9、10、11、12
 - 13、14、15、16
- パフォーマンスモード:あり、ポートグループ単位
- C6800-16P10G または C6800-16P10G-XL のいずれかを設置する前に、リリース 15.2(1)SY 以降にアップグレードします。
- サポート対象モード
 - C6807-XL の場合:
 - 16 ポート:オーバーサブスクリプション モード 2:1
 - 8 ポート:パフォーマンスモード 1:1

- Catalyst 6500-E の場合:
 - 16 ポート: オーバーサブスクリプション モード 2:1
 - 8 ポート: パフォーマンスモード 1:1
- 転送エンジンの数: 1
- ポートバッファ
 - オーバーサブスクリプション モード:
 - ポートあたり 250 MB (出力)
 - ポートあたり 1.25 MB (入力)
 - パフォーマンスモード:
 - ポートあたり 500 MB (出力)
 - ポートあたり 2.5 MB (入力)

Catalyst C6800-32P10G、Catalyst C6800-32P10G-XL

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|----------------------------------|-----------------------|
| C6800-32P10G-XL | 32 ポート 10 ギガビットイーサネット SFP+ モジュール | |
| C6800-32P10G | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.2(1)SY |
| | Supervisor Engine 6T で使用 | 15.3(1)SY |

- C6800-32P10G および C6800-32P10G-XL はオーダー可能な製品 ID です。
- Cisco IOS ソフトウェアコマンドでは、C6800-32P10G または C6800-32P10G-XL と表示されます。
- QoS アーキテクチャ
 - 受信:
 - 1p7q4t (デフォルト)
 - 2p6q4t (設定可能)
 - 送信:
 - 1p7q4t (デフォルト)
 - 2p6q4t (設定可能)
- ポート数: 32
- ポートグループ: 4
 - ポートグループごとに 2 つのポートセット
 - ポートグループ 1:
 - 1、3、5、7
 - 9、11、13、15
 - ポートグループ 2:
 - 2、4、6、8
 - 10、12、14、16

- ポートグループ 3:
17、19、21、23
25、27、29、31
- ポートグループ 4:
18、20、22、24
26、28、30、32
- パフォーマンスモード:あり、ポートグループ単位
- 4C6800-32P10G または C6800-32P10G-XL のいずれかを設置する前に、リリース 15.2(1)SY 以降にアップグレードします。
- サポート対象モード
 - C6807-XL の場合:
32 ポート:オーバーサブスクリプション モード 2:1
16 ポート:パフォーマンスモード 1:1
 - Catalyst 6500-E の場合:
32 ポート:オーバーサブスクリプション モード 4:1
16 ポート:パフォーマンスモード 2:1
- 転送エンジンの数:2
- ポートバッファ
 - オーバーサブスクリプション モード:
ポートあたり 250 MB(出力)
ポートあたり 1.2 MB(入力)
 - パフォーマンスモード:
ポートあたり 500 MB(出力)
ポートあたり 2.5 MB(入力)

WS-X6908-10GE 8 ポート 10 ギガビットイーサネット X2 スイッチングモジュール

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|---|-------------------------------|-----------------------|
| WS-X6908-10G-XL (WS-F6K-DFC4-EXL 搭載) | 8 ポート 10 ギガビットイーサネット X2 モジュール | |
| | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.0(1)SY |
| WS-X6908-10G (WS-F6K-DFC4-E 搭載) | Supervisor Engine 6T で使用 | 15.3(1)SY |

- WS-X6908-10G および WS-X6908-10G-XL はオーダー可能な製品 ID です。
- 前面パネルには WS-X6908-10GE というラベルが付いています。
- Cisco IOS ソフトウェアコマンドでは、WS-F6K-DFC4-E または WS-F6K-DFC4-EXL のいずれかと WS-X6908-10GE が表示されます。
- dCEF2T
- QoS ポートアーキテクチャ (Rx/Tx) : 8q4t/1p7q4t
- デュアル スイッチ ファブリック接続
ファブリックチャネル #1: ポート 2、3、6、8
ファブリックチャネル #2: ポート 1、4、5、7

- ポート数:8
ポートグループの数:8
ポートグループ単位のポート範囲: 各グループに 1 ポート
- 3 スロットシャーシでは、[WS-C6503-E](#) ハードウェアリビジョン 1.3 以降でのみサポートされます。

WS-X6816-10T-2T、WS-X6716-10T 16 ポート 10 ギガビットイーサネット銅線スイッチングモジュール

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小ソフトウェアバージョン |
|--|---------------------------------------|---------------|
| WS-X6816-10T-2TXL (WS-F6K-DFC4-EXL 搭載) | 16 ポート 10 ギガビットイーサネット銅線 (RJ-45) モジュール | |
| WS-X6716-10T-3CXL (WS-F6K-DFC4-EXL= を使用してアップグレードする必要あり) | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.0(1)SY |
| WS-X6816-10T-2T (WS-F6K-DFC4-E 搭載) | Supervisor Engine 6T で使用 | 15.3(1)SY |
| WS-X6716-10T-3C (WS-F6K-DFC4-E= を使用してアップグレードする必要あり) | | |


- オーダー可能な製品 ID は次のとおりです。
 - WS-X6816-10T-2TXL
 - WS-X6816-10T-2T
 - WS-X6716-10T-3CXL
 - WS-X6716-10T-3C
- 前面パネルには WS-X6716-10T というラベルが付いています。
- Cisco IOS ソフトウェアコマンドでは、任意の DFC と WS-X6716-10T が表示されます。
- QoS ポートアーキテクチャ (Rx/Tx):
 - [オーバーサブスクリプションモード](#): **1p7q2t/1p7q4t**
 - パフォーマンスモード: **8q4t/1p7q4t**
- デュアル スイッチ ファブリック 接続
ファブリックチャネル #1: ポート 1 ~ 8
ファブリックチャネル #2: ポート 9 ~ 16
- ポート数: 16
ポートグループの数: 4
ポートグループ単位のポート範囲: 1 ~ 4, 5 ~ 8, 9 ~ 12, 13 ~ 16
- [オーバーサブスクリプション](#) モードで設定されていない場合は、仮想スイッチリンクでサポートされます。
- ポートのオーバーサブスクリプションを設定するには、**hw-module slot** コマンドを使用します。

WS-X6816-10G-2T、WS-X6716-10G 16ポート 10ギガビットイーサネット X2 スイッチング モジュール

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|---|-------------------------------|-----------------------|
| WS-X6816-10G-2TXL (WS-F6K-DFC4-EXL 搭載) | 16ポート 10ギガビットイーサネット X2 モジュール | |
| WS-X6716-10G-3CXL (WS-F6K-DFC4-EXL= を使用して アップグレードする必要あり) | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.0(1)SY |
| WS-X6816-10G-2T (WS-F6K-DFC4-E 搭載) | Supervisor Engine 6T で使用 | 15.3(1)SY |
| WS-X6716-10G-3C (WS-F6K-DFC4-E= を使用して アップグレードする必要あり) | | |

- オーダー可能な製品 ID は次のとおりです。
 - WS-X6816-10G-2TXL
 - WS-X6816-10G-2T
 - WS-X6716-10G-3CXL
 - WS-X6716-10G-3C
- 前面パネルには WS-X6716-10GE というラベルが付いています。
- Cisco IOS ソフトウェアコマンドでは、任意の DFC と WS-X6716-10GE が表示されます。
- QoS ポートアーキテクチャ (Rx/Tx):
 - **オーバーサブスクリプションモード: 1p7q2t/1p7q4t**
 - **パフォーマンスモード: 8q4t/1p7q4t**
- デュアルスイッチファブリック接続
 ファブリックチャンネル #1: ポート 1 ~ 8
 ファブリックチャンネル #2: ポート 9 ~ 16
- ポート数: 16
 ポートグループの数: 4
 ポートグループ単位のポート範囲: 1 ~ 4, 5 ~ 8, 9 ~ 12, 13 ~ 16
- **オーバーサブスクリプション** モードで設定されていない場合は、仮想スイッチリンクでサ
 ポートされます。
- ポートのオーバーサブスクリプションを設定するには、**hw-module slot** コマンドを使用します。

WS-X6704-10GE 4ポート 10 ギガビットイーサネット XENPAK スイッチングモジュール

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|--|-----------------------|
| WS-X6704-10G | 4ポート 10 ギガビットイーサネット XENPAK Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.0(1)SY |
| | Supervisor Engine 6T で使用  (注) Supervisor Engine 6T は DFC4/4XL でサポートされ、1 GB 以上の RAM が必要です。 | 15.3(1)SY |

- WS-X6704-10GE には、次のいずれかが必要です。
 - Supervisor Engine 2T-10GE で使用:
 - WS-F6K-DFC4-AXL
 - WS-F6K-DFC4-A
 - WS-F6700-CFC
 - Supervisor Engine 6T で使用:
 - WS-F6K-DFC4-AXL
 - WS-F6K-DFC4-A
 SUP6T では 1 GB の DRAM が必要です。次の資料を参照してください。
http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/switches/lan/catalyst6500/hardware/Config_Notes/78_12409.html
- WS-F6700-CFC (CSCtk82279) では 512 MB の DRAM が必要です。次の資料を参照してください。
http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/switches/lan/catalyst6500/hardware/Config_Notes/78_12409.html
- QoS ポートアーキテクチャ (Rx/Tx): 8q8t/1p7q8t
- デュアル スイッチ ファブリック接続:
 ファブリックチャンネル #1: ポート 3 と 4
 ファブリックチャンネル #2: ポート 1 と 2
- ポート数: 4
 ポートグループの数: 4
 ポートグループ単位のポート範囲: 各グループに 1 ポート
- WS-X6704-10G は、オーダー可能な製品 ID です。
- 前面パネルには WS-X6704-10GE というラベルが付いています。
- Cisco IOS ソフトウェアコマンドでは、任意の DFC と WS-X6704-10GE が表示されます。
- WS-X6704-10GE ポートでは、STP BPDU はトラフィックストーム制御のマルチキャスト抑制から除外されません。ネットワークデバイスを相互接続する STP で保護された WS-X6704-10GE ポートでは、マルチキャスト抑制を設定しないでください。(CSCsg86315)

Cisco Catalyst 6880-X シリーズ拡張可能な固定型アグリゲーションスイッチ

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小ソフトウェアバージョン |
|--------------------------------------|---|---------------|
| C6880-X-LE | 16 の 10 ギガビット (SFP+) / 1 ギガビットポート (SFP)、4 つのポートカードスロット、2 つの電源スロット。標準の FIB/ACL/NetFlow テーブルをサポートします。 | 15.1 (2) SY1 |
| C6880-X | 16 の 10 ギガビット (SFP+) / 1 ギガビットポート (SFP)、4 つのポートカードスロット、2 つの電源スロット。大規模な FIB/ACL/NetFlow テーブルをサポートします。 | |
| C6880-X-LE-16P10G¹ | 標準テーブル付きマルチレートポートカードです。このモジュールには、1 ギガビット SFP または 10 ギガビット SFP+ モジュールをサポートする 16 個の 10 ギガビットまたは 1 ギガビットのモジュールスロットがあります。Catalyst 6880-X-LE スイッチモデルでのみサポートされます。 | 15.1(2)SY2 |
| C6880-X-16P10G¹ | XL テーブル付きマルチレートポートカードです。このモジュールには、1 ギガビット SFP または 10 ギガビット SFP+ モジュールをサポートする 16 個の 10 ギガビットまたは 1 ギガビットのモジュールスロットがあります。Catalyst 6880-X スイッチモデルでのみサポートされます。 | |

注 詳細については、次のマニュアルを参照してください。

http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/switches/catalyst-6880-x-switch/data_sheet_c78-728228.html

http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/switches/catalyst-6880-x-switch/white_paper_c11-728540.html

http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/switches/catalyst-6880-x-switch/white_paper_c11-728541.html

1. これらのポートカードは、指定されたスイッチモデルでのみサポートされ、相互運用できません。

Cisco Catalyst 6840-X シリーズ固定型アグリゲーションスイッチ

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小ソフトウェアバージョン |
|-------------------------|---|---------------|
| C6816-X-LE | 16 の 10 ギガビット (SFP+) / 1 ギガビットポート (SFP)、2 つの電源スロット。標準の FIB/ACL/NetFlow テーブルをサポートします。 | 15.2(2)SY |
| C6832-X-LE | 32 の 10 ギガビット (SFP+) / 1 ギガビットポート (SFP)、2 つの電源スロット。標準の FIB/ACL/NetFlow テーブルをサポートします。 | |
| C6824-X-LE-40G | 24 の 10 ギガビット (SFP+) / 1 ギガビットポート (SFP)、2 つの 40 ギガビット (QSFP)、2 つの電源スロット。標準の FIB/ACL/NetFlow テーブルをサポートします。 | 15.2(2)SY |
| C6840-X-LE-40G | 40 の 10 ギガビット (SFP+) / 1 ギガビットポート (SFP)、2 つの 40 ギガビット (QSFP)、2 つの電源スロット。標準の FIB/ACL/NetFlow テーブルをサポートします。 | |

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|---|-------|-----------------------|
| <p>注 詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <p>http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/switches/catalyst-6800-series-switches/datasheet-c78-734470.html</p> <p>これらのポートカードは、指定されたスイッチモデルでのみサポートされ、相互運用できません。</p> | | |

Cisco Catalyst 6807-XL モジュラスイッチ

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|--|---|-----------------------|
| C6807-XL | <p>7 スロットのモジュラ型シャーシ。</p> <p>スイッチは冗長電源モジュール (AC 入力)、冗長スーパーバイザエンジン、ファントレイ、電源コンバータモジュール、クロックモジュール、および電圧終端拡張 (VTT-E) モジュールをサポートします。</p> | 15.1(2)SY3 |
| <p>注 詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <p>http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/switches/catalyst-6807-xl-switch/data_sheet_c78-728229.html</p> <p>http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/switches/catalyst-6807-xl-switch/white_paper_c11-728264.html</p> | | |

Supervisor 6T 搭載の Catalyst 6500 および Catalyst 6807-XL スイッチの IA クライアント最大値:

| 値の説明: | 最大値 | ソフトウェアバージョン |
|---|--|-------------|
| IA クライアントポートの最大数 | 42 台の Catalyst 6800ia アクセススイッチに 2016 個のポート | 15.3(1)SY1 |
| IA クライアントスイッチの最大数 | 42 (IA クライアントの FEX 番号 1 ~ 42 の範囲で定義) | |
| IA クライアントスタックあたりの最大 Catalyst 6800ia アクセススイッチ数 | 5 <ul style="list-style-type: none"> • IA クライアントスタックは、単一のスイッチユニットとして機能します。 • インスタントアクセスは、スタックの作成にスタッキングケーブルを使用した接続のみサポートします。 • 複数の Catalyst 6800ia アクセススイッチが搭載された IA クライアントでは、スタック内のスイッチが増分スイッチ番号を自身に割り当てます (自動スタッキング機能)。 • 設定されている IA クライアントに Catalyst 6800ia アクセススイッチを追加すると、追加スイッチは増分スイッチ番号を自身に割り当てます。 • アクセススイッチ番号が変更された場合、IA クライアントの設定は保持されません。 | |

Supervisor 2T 搭載の Catalyst 6500 および Catalyst 6807-XL スイッチの IA クライアント最大値:

| 値の説明: | 最大値 | ソフトウェアバージョン |
|---|---|-------------------------|
| IA クライアントポートの最大数 | 1500 ポート | 15.2(1)SY1 ¹ |
| IA クライアントスイッチの最大数 | 32 | |
| IA クライアントスタックあたりの最大 Catalyst 6800ia アクセススイッチ数 | 5 <ul style="list-style-type: none"> IA クライアントスタックは、単一のスイッチユニットとして機能します。 インスタントアクセスは、スタックの作成にスタッキングケーブルを使用した接続のみサポートします。 複数の Catalyst 6800ia アクセススイッチが搭載された IA クライアントでは、スタック内のスイッチが増分スイッチ番号を自身に割り当てます(自動スタッキング機能)。 設定されている IA クライアントに Catalyst 6800ia アクセススイッチを追加すると、追加スイッチは増分スイッチ番号を自身に割り当てます。 アクセススイッチ番号が変更された場合、IA クライアントの設定は保持されません。 | |

1. Cisco IOS リリース 15.2(1)SY および 15.2(1)SY0a の規模は、25 台のクライアントスイッチに 1200 のポートおよび IA クライアントスタックごとに 5 つです。

Catalyst 6840-X スイッチの IA クライアント最大値

| 値の説明: | 最大値 | ソフトウェアバージョン |
|---|---|-------------|
| IA クライアントポートの最大数 | 32 台の Catalyst 6800ia アクセススイッチに 1500 個のポート | 15.2 (2) SY |
| IA クライアントスイッチの最大数 | 32 | |
| IA クライアントスタックあたりの最大 Catalyst 6800ia アクセススイッチ数 | 5 <ul style="list-style-type: none"> • IA クライアントスタックは、単一のスイッチユニットとして機能します。 • インスタントアクセスは、スタックの作成にスタッキングケーブルを使用した接続のみサポートします。 • 複数の Catalyst 6800ia アクセススイッチが搭載された IA クライアントでは、スタック内のスイッチが増分スイッチ番号を自身に割り当てます(自動スタッキング機能)。 • 設定されている IA クライアントに Catalyst 6800ia アクセススイッチを追加すると、追加スイッチは増分スイッチ番号を自身に割り当てます。 • アクセススイッチ番号が変更された場合、IA クライアントの設定は保持されません。 | |

Catalyst 6880-X スイッチのクライアント最大値

| 値の説明: | 最大値 | ソフトウェアバージョン |
|---|---|-------------|
| IA クライアントポートの最大数 | 42 台の Catalyst 6800ia アクセススイッチに 2016 個のポート | 15.2(1)SY |
| IA クライアントスイッチの最大数 | 42 (IA クライアントの FEX 番号 1 ~ 42 の範囲で定義) | |
| IA クライアントスタックあたりの最大 Catalyst 6800ia アクセススイッチ数 | 5 <ul style="list-style-type: none"> IA クライアントスタックは、単一のスイッチユニットとして機能します。 インスタントアクセスは、スタックの作成にスタッキングケーブルを使用した接続のみサポートします。 複数の Catalyst 6800ia アクセススイッチが搭載された IA クライアントでは、スタック内のスイッチが増分スイッチ番号を自身に割り当てます(自動スタッキング機能)。 設定されている IA クライアントに Catalyst 6800ia アクセススイッチを追加すると、追加スイッチは増分スイッチ番号を自身に割り当てます。 アクセススイッチ番号が変更された場合、IA クライアントの設定は保持されません。 | |

ギガビットイーサネットスイッチングモジュール

- [WS-X6848-SFP-2T、WS-X6748-SFP 48 ポート ギガビットイーサネット SFP スイッチングモジュール\(26 ページ\)](#)
- [WS-X6824-SFP-2T、WS-X6724-SFP 24 ポート ギガビットイーサネット SFP スイッチングモジュール\(27 ページ\)](#)

WS-X6848-SFP-2T、WS-X6748-SFP 48 ポート ギガビットイーサネット SFP スイッチングモジュール

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小ソフトウェアバージョン |
|---|-------------------------------|---------------|
| WS-X6848-SFP-2TXL (WS-F6K-DFC4-AXL 搭載) | 48 ポート ギガビットイーサネット SFP | |
| WS-X6848-SFP-2T (WS-F6K-DFC4-A 搭載) | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.0(1)SY |
| WS-X6748-SFP (WS-F6700-CFC を使用するか、 WS-F6K-DFC4-AXL または WS-F6K-DFC4-A を使用してアップグレード) | Supervisor Engine 6T で使用 | 15.3(1)SY |

- WS-X6748-SFP には、次のいずれかが必要です。
 - Supervisor Engine 2T-10GE で使用:
 - WS-F6K-DFC4-AXL
 - WS-F6K-DFC4-A
 - WS-F6700-CFC
 - Supervisor Engine 6T で使用:
 - WS-F6K-DFC4-AXL
 - WS-F6K-DFC4-A
- QoS アーキテクチャ: **2q8t/1p3q8t**
- デュアルスイッチファブリック接続
 ファブリックチャンネル #1: ポート 2、4、6、8、10、12、14、16、18、20、22、24、26、28、30、32、34、36、38、40、42、44、46、48
 ファブリックチャンネル #2: ポート 1、3、5、7、9、11、13、15、17、19、21、23、25、27、29、31、33、35、37、39、41、43、45、47
- ポート数: 48
 ポートグループの数: 4
 ポートグループ単位のポート範囲:
 - 1、3、5、7、9、11、13、15、17、19、21、23
 - 2、4、6、8、10、12、14、16、18、20、22、24
 - 25、27、29、31、33、35、37、39、41、43、45、47
 - 26、28、30、32、34、36、38、40、42、44、46、48

- WS-X6848-SFP-2T および WS-X6748-SFP ポートでは、STP BPDU は [トラフィックストーム制御](#) のマルチキャスト抑制から除外されません。ネットワークデバイスを相互接続する STP で保護された WS-X6848-SFP-2T または WS-X6748-SFP ポートでは、マルチキャスト抑制を設定しないでください。

WS-X6824-SFP-2T、WS-X6724-SFP 24 ポート ギガビットイーサネット SFP スイッチングモジュール

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小ソフトウェアバージョン |
|---|---|-------------------------------|
| WS-X6824-SFP-2TXL (WS-F6K-DFC4-AXL 搭載) | 24 ポートギガビット Mbps イーサネット SFP | |
| WS-X6824-SFP-2T (WS-F6K-DFC4-A 搭載) | | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 |
| WS-X6724-SFP (WS-F6700-CFC を使用するか、 WS-F6K-DFC4-AXL または WS-F6K-DFC4-A を使用してアップグレード) | | Supervisor Engine 6T で使用 |

- WS-X6724-SFP には、次のいずれかが必要です。
 - Supervisor Engine 2T-10GE で使用:
 - WS-F6K-DFC4-AXL
 - WS-F6K-DFC4-A
 - WS-F6700-CFC
 - Supervisor Engine 6T で使用:
 - WS-F6K-DFC4-AXL
 - WS-F6K-DFC4-A
- QoS アーキテクチャ: [2q8t/1p3q8t](#)
- ポート数: 24
ポートグループの数: 2
ポートグループ単位のポート範囲: 1 ~ 12、13 ~ 24
- WS-X6824-SFP-2T および WS-X6724-SFP ポートでは、STP BPDU は [トラフィックストーム制御](#) のマルチキャスト抑制から除外されません。ネットワークデバイスを相互接続する STP で保護された WS-X6824-SFP-2T または WS-X6724-SFP ポートでは、マルチキャスト抑制を設定しないでください。

10/100/1000 イーサネット スイッチング モジュール

ここでは、サポートされている 10/100/1000 イーサネット スイッチング モジュールについて説明します。

- [Catalyst C6800-48P-TX](#)、[Catalyst C6800-48P-TX-XL](#)、[Catalyst C6800-48P-SFP](#)、[Catalyst C6800-48P-SFP-XL](#) ([28 ページ](#))

- [WS-X6848-TX-2T、WS-X6748-GE-TX \(29 ページ\)](#)
- [WS-X6148E-GE-45AT \(30 ページ\)](#)
- [WS-X6148A-GE-TX \(30 ページ\)](#)

Catalyst C6800-48P-TX、Catalyst C6800-48P-TX-XL、Catalyst C6800-48P-SFP、Catalyst C6800-48P-SFP-XL

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|-------------------------------|-----------------------|
| C6800-48P-TX-XL | 48 ポート 10/100/1000 RJ-45 | |
| C6800-48P-TX | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.2(1)SY |
| | Supervisor Engine 6T で使用 | 15.3(1)SY |

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|-------------------------------|-----------------------|
| C6800-48P-SFP-XL | 48 ポート 10/100/1000 SFP | |
| C6800-48P-SFP | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.2(1)SY |
| | Supervisor Engine 6T で使用 | 15.3(1)SY |

- C6800-48P-SFP および C6800-48P-SFP-XL または C6800-48P-TX および C6800-48P-TX-XL はオーダー可能な製品 ID です。
- Cisco IOS ソフトウェアコマンドには、SFP カードの場合は C6800-48P-SFP または C6800-48P-SFP-XL、TX ベースのカードの場合は C6800-48P-TX または C6800-48P-TX-XL が表示されます。
- QoS アーキテクチャ
 - 受信:
2q8t (TX および SFP ベースのカード用)
 - 送信:
1p3q8t (TX および SFP ベースのカード用)
- ポート数: 48
- フォワーディングおよびパフォーマンス: DFC4-A または DFC4-AXL ドーターカードを搭載、パフォーマンスを提供 (持続的なパフォーマンスは L2、IPv4、および MPLS 転送で最大 60 Mbps、IPv6 転送で 30 Mbps)。
- これらのモジュールを設置する前に、リリース 15.2(1)SY 以降にアップグレードします。
- バックプレーン接続: 2 つの全二重 20 Gbps スイッチ ファブリック チャンネルを使用してスイッチファブリックに接続します。

- TX モデルは、カテゴリ 5、5E、および 6 以上の銅線 RJ45 コネクタ 100 m をサポートします。SFP モデルは、SX、LX/LH、-ZX、-T、LC コネクタを使用した 1000BASE-T-CWDM をサポートします。
- 転送エンジンの数: 1
- ポートバッファ (TX および SFP ベースの両方のカード用)
 - 受信: 173 KB
 - 送信: 1.22 MB

詳細については、次のマニュアルを参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/switches/catalogst/6800-series-switches/datasheet-c78-733663.html>

WS-X6848-TX-2T、WS-X6748-GE-TX

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|--|---|-----------------------|
| WS-X6848-TX-2TXL (WS-F6K-DFC4-AXL 搭載) | 48 ポート 10/100/1000 RJ-45 Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.0(1)SY |
| WS-X6848-TX-2T (WS-F6K-DFC4-A 搭載) | Supervisor Engine 6T で使用 | 15.3(1)SY |
| WS-X6748-GE-TX | | |

- WS-X6748-GE-TX には、次のいずれかが必要です。
 - Supervisor Engine 2T-10GE で使用:
 - WS-F6K-DFC4-AXL
 - WS-F6K-DFC4-A
 - WS-F6700-CFC
 - Supervisor Engine 6T で使用:
 - WS-F6K-DFC4-AXL
 - WS-F6K-DFC4-A
- QoS アーキテクチャ: **2q8t/1p3q8t**
- デュアル スイッチ ファブリック接続
ファブリックチャネル #1: ポート 25 ~ 48
ファブリックチャネル #2: ポート 1 ~ 24
- ポート数: 48
ポートグループの数: 4
ポートグループ単位のポート範囲: 1 ~ 12, 13 ~ 24, 25 ~ 36, 37 ~ 48
- WS-X6848-TX-2T および WS-X6748-GE-TX ポートでは、STP BPDU は **トラフィックストーム制御** のマルチキャスト抑制から除外されません。ネットワークデバイスを相互接続する STP で保護された WS-X6848-TX-2T または WS-X6748-GE-TX ポートでは、マルチキャスト抑制を設定しないでください。

WS-X6148E-GE-45AT

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|--|-----------------------|
| WS-X6148E-GE-45AT | 48 ポート 10/100/1000 Mbps | |
| | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.0(1)SY |
| | VSS モードの Supervisor Engine 2T-10GE で 使用 | 15.1(1)SY |

- RJ-45
- WS-F6K-48-AT を採用する WS-X6148E-GE-45AT は、最大 48 ポートのクラス 4 PoE+ (30.0W) をサポートします。
- QoS ポートアーキテクチャ (Rx/Tx) : **1q2t/1p3q8t**
- ポート数:48
ポートグループの数:6
ポートグループ単位のポート範囲: 1 ~ 8, 9 ~ 16, 17 ~ 24, 25 ~ 32, 33 ~ 40, 41 ~ 48
- 8 ポートの各セットの集約帯域幅 (1 ~ 8, 9 ~ 16, 17 ~ 24, 25 ~ 32, 33 ~ 40, および 41 ~ 48) は 1 Gbps です。
- トラフィックストーム制御はサポートされません。

WS-X6148A-GE-TX

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|---|-----------------------|
| WS-X6148A-GE-TX | 48 ポート 10/100/1000 Mbps | |
| | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 (VSS モードでは非サポート) | 15.0(1)SY |

- RJ-45
- WS-X6148A-GE-TX は [WS-F6K-GE48-AF](#) または [WS-F6K-48-AF](#) をサポートします。
- [WS-F6K-GE48-AF](#) を使用すると、最大 45 ポートの ePoE (16.8W) をサポートします。
- QoS ポートアーキテクチャ (Rx/Tx) : **1q2t/1p3q8t**
- ポート数:48
ポートグループの数:6
ポートグループ単位のポート範囲: 1 ~ 8, 9 ~ 16, 17 ~ 24, 25 ~ 32, 33 ~ 40, 41 ~ 48
- 各ポートグループの集約帯域幅は 1 Gbps です。
- トラフィックストーム制御はサポートされません。

Power over Ethernet ドーターカード

- [WS-F6K-GE48-AF、WS-F6K-48-AF](#) (31 ページ)

WS-F6K-GE48-AF、WS-F6K-48-AF

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|--|--|-----------------------|
| WS-F6K-GE48-AF WS-F6K-48-AF | 以下に対応する IEEE 802.3af PoE ドーターカード: <ul style="list-style-type: none"> • WS-X6148A-GE-TX Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.0(1)SY |

- WS-F6K-GE48-AF および WS-F6K-48-AF は、これらのスイッチングモジュールの FRU ではありません。
- WS-X6148A-GE-TX は、最大 45 ポートの ePoE (16.8 W) をサポートします。

トランシーバ

- [CFP モジュール](#) (31 ページ)
- [X2 モジュール](#) (32 ページ)
- [10 GE SFP+ モジュール](#) (34 ページ)
- [40 GE QSFP モジュール](#) (36 ページ)
- [XENPAK](#) (38 ページ)
- [Small Form-Factor Pluggable \(SFP\) モジュール](#) (39 ページ)
- [ギガビット インターフェイス コンバータ \(GBIC\)](#) (42 ページ)

CFP モジュール

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|---|-----------------------|
| CFP-40G-LR4 | 40GBASE-LR4 | 15.0(1)SY1 |
| CFP-40G-SR4 | 40GBASE-SR4 | 15.0(1)SY1 |
| CVR-CVR-4SFP10G | 各 40 GE ポートを 4 つの 10 GE SFP+ ポートに変換する FourX コンバータ | 15.0(1)SY1 |

X2 モジュール



注

- [WS-X6716-10G](#) および [WS-X6708-10GE](#) は、末尾が -01 の番号のラベルがついている X2 モジュールをサポートしていません(この制限は、X2-10GB-LRM には適用されません)。
- [WS-X6716-10G](#) が利用可能になった後で出荷されたすべての X2 モジュールは、[WS-X6816-10G](#) および [WS-X6716-10G](#) との組み合わせで EMI 準拠になります。
- [WS-X6716-10G](#) が利用可能になる前に出荷された一部の X2 モジュールは、[WS-X6816-10G](#) および [WS-X6716-10G](#) との組み合わせで EMI 準拠になりません。次の表にリストされている各タイプの X2 モジュールの情報を参照してください。
- X2 モジュールの詳細については、Cisco 10GBASE X2 モジュールのデータシートを参照してください。

http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/interfaces-modules/10-gigabit-modules/product_data_sheet0900aecd801f92aa.html

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|--|----------|-----------------------|
| CVR-X2-SFP10G | 10G X2 から SFP+ へのコンバータ | | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-60.61= | 10GBASE-DWDM 1560.61 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU 21 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-59.79= | 10GBASE-DWDM 1559.79 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU 22 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-58.98= | 10GBASE-DWDM 1558.98 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU 23 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-58.17= | 10GBASE-DWDM 1558.17 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU 24 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-56.55= | 10GBASE-DWDM 1556.55 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU 26 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-55.75= | 10GBASE-DWDM 1555.75 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU 27 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-54.94= | 10GBASE-DWDM 1554.94 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU 28 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-54.13= | 10GBASE-DWDM 1554.13 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU 29 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-52.52= | 10GBASE-DWDM 1552.52 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU 31 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-51.72= | 10GBASE-DWDM 1551.72 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU-T 32 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-50.92= | 10GBASE-DWDM 1550.92 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU-T 33 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-50.12= | 10GBASE-DWDM 1550.12 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU-T 34 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-48.51= | 10GBASE-DWDM 1548.51 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU-T 36 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-47.72= | 10GBASE-DWDM 1547.72 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU-T 37 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-46.92= | 10GBASE-DWDM 1546.92 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU-T 38 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-46.12= | 10GBASE-DWDM 1546.12 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU-T 39 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-44.53= | 10GBASE-DWDM 1544.53 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU-T 41 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-43.73= | 10GBASE-DWDM 1543.73 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU-T 42 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-42.94= | 10GBASE-DWDM 1542.94 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU-T 43 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-42.14= | 10GBASE-DWDM 1542.14 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU-T 44 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-40.56= | 10GBASE-DWDM 1540.56 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU-T 46 | 15.0(1)SY |

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン | |
|-------------------------|---|-----------------------|-----------|
| DWDM-X2-39.77= | 10GBASE-DWDM 1539.77 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU-T 47 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-38.98= | 10GBASE-DWDM 1538.98 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU-T 48 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-38.19= | 10GBASE-DWDM 1538.19 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU-T 49 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-36.61= | 10GBASE-DWDM 1536.61 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU-T 51 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-35.82= | 10GBASE-DWDM 1535.82 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU-T 52 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-35.04= | 10GBASE-DWDM 1535.04 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU-T 53 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-34.25= | 10GBASE-DWDM 1534.25 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU-T 54 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-32.68= | 10GBASE-DWDM 1532.68 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU-T 56 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-31.90= | 10GBASE-DWDM 1531.90 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU-T 57 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-31.12= | 10GBASE-DWDM 1531.12 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU-T 58 | 15.0(1)SY |
| DWDM-X2-30.33= | 10GBASE-DWDM 1530.33 nm X2(100-GHz ITU グリッド) | ITU-T 59 | 15.0(1)SY |
| X2-10GB-T | CAT6A/CAT7 銅線ケーブル用 10GBASE-T X2 モジュール | | 15.1(1)SY |
| X2-10GB-ZR | SMF 用 10GBASE-ZR X2 モジュール | | 15.0(1)SY |
| X2-10GB-CX4 | CX4(銅線)ケーブル用 10GBASE | | 15.0(1)SY |
| X2-10GB-ER | 10GBASE-ER シリアル 1550 nm 距離拡張、シングルモードファイバ (SMF)、分散シフト型ファイバ(DSF) 注 末尾が -02 の番号のラベルが付けられた X2-10GB-ER モジュールを使用した場合、 WS-X6716-10G は EMI に準拠 しません。 | | 15.0(1)SY |
| X2-10GB-LR | 10GBASE-LR シリアル 1310 nm 長距離対応、シングルモードファイバ (SMF)、分散シフト型ファイバ(DSF) 注 末尾が -02 または -03 の番号のラベルが付けられた X2-10GB-LR モジュールを使用した場合、 WS-X6716-10G は EMI に準拠 しません。 | | 15.0(1)SY |
| X2-10GB-LRM | FDDI-grade マルチモードファイバ(MMF)用 10GBASE-LRM 注 <code>show idprom</code> コマンドではサポートされません。(CSCsj35671) | | 15.0(1)SY |
| X2-10GB-LX4 | 10GBASE-LX4 シリアル 1310 nm マルチモード(MMF) 注 <ul style="list-style-type: none"> サポートされていない 10GBASE-LX4 モジュールの詳細については、フィールド通知 62840 を参照してください。 http://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/field-notices/misc/FN62840.html 末尾が -01 ~ -03 の番号のラベルが付けられた X2-10GB-LX4 モジュールを使用した場合、WS-X6716-10G は EMI に準拠しません。 | | 15.0(1)SY |
| X2-10GB-SR | 10GBASE-SR シリアル 850 nm 短距離マルチモード(MMF) | | 15.0(1)SY |

10 GE SFP+ モジュール

| 製品 ID (スペア用には「」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|------------------------|--|-----------------------|
| DWDM-SFP10G-61.41 | 10GBASE-DWDM 1561.41 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-60.61 | 10GBASE-DWDM 1560.61 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-59.79 | 10GBASE-DWDM 1559.79 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-58.98 | 10GBASE-DWDM 1558.98 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-58.17 | 10GBASE-DWDM 1558.17 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-57.36 | 10GBASE-DWDM 1557.36 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-56.55 | 10GBASE-DWDM 1556.55 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-55.75 | 10GBASE-DWDM 1555.75 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-54.94 | 10GBASE-DWDM 1554.94 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-54.13 | 10GBASE-DWDM 1554.13 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-53.33 | 10GBASE-DWDM 1553.33 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-52.52 | 10GBASE-DWDM 1552.52 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-51.72 | 10GBASE-DWDM 1551.72 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-50.92 | 10GBASE-DWDM 1550.92 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-50.12 | 10GBASE-DWDM 1550.12 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-49.32 | 10GBASE-DWDM 1549.32 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-48.51 | 10GBASE-DWDM 1548.51 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-47.72 | 10GBASE-DWDM 1547.72 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-46.92 | 10GBASE-DWDM 1546.92 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |

| 製品 ID (スペア用には「」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|------------------------|---|-----------------------|
| DWDM-SFP10G-46.12 | 10GBASE-DWDM 1546.12 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-45.32 | 10GBASE-DWDM 1545.32 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-44.53 | 10GBASE-DWDM 1544.53 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-43.73 | 10GBASE-DWDM 1543.73 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-42.94 | 10GBASE-DWDM 1542.94 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-42.14 | 10GBASE-DWDM 1542.14 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-41.35 | 10GBASE-DWDM 1541.35 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-40.56 | 10GBASE-DWDM 1540.56 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-39.77 | 10GBASE-DWDM 1539.77 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-38.98 | 10GBASE-DWDM 1538.98 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-38.19 | 10GBASE-DWDM 1538.19 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-37.40 | 10GBASE-DWDM 1537.40 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-36.61 | 10GBASE-DWDM 1536.61 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-35.82 | 10GBASE-DWDM 1535.82 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-35.04 | 10GBASE-DWDM 1535.04 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-34.25 | 10GBASE-DWDM 1534.25 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-33.47 | 10GBASE-DWDM 1533.47 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-32.68 | 10GBASE-DWDM 1532.68 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-31.90 | 10GBASE-DWDM 1531.90 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-31.12 | 10GBASE-DWDM 1531.12 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |
| DWDM-SFP10G-30.33 | 10GBASE-DWDM 1530.33 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド) | 15.1(2)SY |

| 製品 ID (スペア用には「J」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|--|-----------------------|
| CWDM-SFP10G-1530 | CWDM 1530-nm SFP+, 10 ギガビットイーサネット | 15.3(1)SY |
| SFP-10G-LR | 1310 nm SMF の 10GBASE-LR | 15.0(1)SY1 |
| SFP-10G-ER | 1550 nm SMF の 10GBASE-ER | 15.0(1)SY1 |
| SFP-10G-LRM | 10GBASE-LRM 1310 nm MMF および SMF | 15.0(1)SY |
| SFP-10G-SR | 10GBASE-SR、850 nm MMF | 15.0(1)SY |
| SFP-10G-ZR | 1550 nm SMF の 10GBASE-ZR SFP+ | 15.1(2)SY3 |
| SFP-10G-LR-S | 1310 nm SMF の 10GBASE-LR、S クラス | 15.2(1)SY |
| SFP-10G-ER-S | 1550 nm SMF の 10GBASE-ER、S クラス | 15.2(1)SY |
| SFP-10G-SR-S | 10GBASE-SR 850 nm MMF、S クラス | 15.2(1)SY |
| SFP-10G-ZR-S | 1550 nm SMF の 10GBASE-ZR SFP+, S クラス | 15.2(1)SY |
| SFP-10G-BX40D-I | 1330 nm SMF の 10GE | 15.3(1)SY |
| SFP-10G-BX40U-I | 1270 nm SMF の 10GE | 15.3(1)SY |
| SFP-H10GB-CU1M | 1m Twinax ケーブル、パッシブ、30AWG ケーブルアセンブリ | 15.2(1)SY |
| SFP-H10GB-CU1-5M | 1.5m Twinax ケーブル、パッシブ、30AWG ケーブルアセンブリ | 15.2(1)SY |
| SFP-H10GB-CU2M | 2m Twinax ケーブル、パッシブ、30AWG ケーブルアセンブリ | 15.2(1)SY |
| SFP-H10GB-CU2-5M | 2.5m Twinax ケーブル、パッシブ、30AWG ケーブルアセンブリ | 15.2(1)SY |
| SFP-H10GB-CU3M | 3m Twinax ケーブル、パッシブ、30AWG ケーブルアセンブリ | 15.2(1)SY |
| SFP-H10GB-CU5M | 5m Twinax ケーブル、パッシブ、24AWG ケーブルアセンブリ | 15.2(1)SY |
| SFP-H10GB-ACU7M | 7m Twinax ケーブル、アクティブ、30 AWG ケーブルアセンブリ | 15.2(1)SY |
| SFP-H10GB-ACU10M | 10m Twinax ケーブル、アクティブ、28 AWG ケーブルアセンブリ | 15.2(1)SY |
| SFP-10G-AOC1M | 1m のアクティブな光ケーブルアセンブリ | 15.2(1)SY |
| SFP-10G-AOC2M | 2m のアクティブな光ケーブルアセンブリ | 15.2(1)SY |
| SFP-10G-AOC3M | 3m のアクティブな光ケーブルアセンブリ | 15.2(1)SY |
| SFP-10G-AOC5M | 5m のアクティブな光ケーブルアセンブリ | 15.2(1)SY |
| SFP-10G-AOC7M | 7m のアクティブな光ケーブルアセンブリ | 15.2(1)SY |
| SFP-10G-AOC10M | 10m のアクティブな光ケーブルアセンブリ | 15.2(1)SY |

40 GE QSFP モジュール

| 製品 ID (スペア用には「J」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|--|-----------------------|
| QSFP-40G-SR4 | 40GBASE-SR4、4 レーン、850 nm MMF | 15.2(2)SY |
| QSFP-40G-CSR4 | 40GBASE-CSR4、4 レーン、850 nm MMF | 15.2(2)SY |
| QSFP-40G-LR4 | 40GBASE-LR4、1310 nm、SMF (OTU3 データレート サポート付き) | 15.2(2)SY |
| QSFP-40G-ER4 | 40GBASE-ER4、1310 nm、SMF (OTU3 データレート サポート付き) | 15.2 (2) SY |
| QSFP-40G-SR-BD | 40GBASE-SR-BiDi、デュプレックス MMF | 15.2 (2) SY |

| 製品 ID (スペア用には「」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|------------------------|---|-----------------------|
| QSFP-40G-SR4-S | 40GBASE-SR4、4 レーン、850 nm MMF、S クラス | 15.3(1)SY1 |
| QSFP-40G-LR4-S | 40GBASE-LR4、1310 nm、SMF、S クラス | 15.3(1)SY1 |
| WSFP-Q40GLR4L | 40GBASE-LR4-Lite、1310 nm、SMF | 15.3(1)SY1 |
| QSFP-H40G-CU1M | 1m の QSFP から QSFP へのパッシブ直接接続銅ケーブル | 15.2 (2) SY |
| QSFP-H40G-CU3M | 3m の QSFP から QSFP へのパッシブ直接接続銅ケーブル | 15.2 (2) SY |
| QSFP-H40G-CU5M | 5m の QSFP から QSFP へのパッシブ直接接続銅ケーブル | 15.2 (2) SY |
| QSFP-H40G-ACU7M | 7m の QSFP から QSFP へのアクティブ直接接続銅ケーブル | 15.2 (2) SY |
| QSFP-H40G-ACU10M | 10m の QSFP から QSFP へのアクティブ直接接続銅ケーブル | 15.2 (2) SY |
| QSFP-H40G-AOC1M | 1m の QSFP から QSFP へのアクティブ光ケーブル | 15.3(1)SY |
| QSFP-H40G-AOC2M | 2m の QSFP から QSFP へのアクティブ光ケーブル | 15.3(1)SY |
| QSFP-H40G-AOC3M | 3m の QSFP から QSFP へのアクティブ光ケーブル | 15.3(1)SY |
| QSFP-H40G-AOC5M | 5m の QSFP から QSFP へのアクティブ光ケーブル | 15.3(1)SY |
| QSFP-H40G-AOC7M | 7m の QSFP から QSFP へのアクティブ光ケーブル | 15.3(1)SY |
| QSFP-H40G-AOC10M | 10m の QSFP から QSFP へのアクティブ光ケーブル | 15.3(1)SY |
| QSFP-H40G-AOC15M | 15m の QSFP から QSFP へのアクティブ光ケーブル | 15.3(1)SY |
| QSFP-4SFP10G-CU1M | 1m の QSFP から 4 つの SFP+ への銅線ブレイクアウトケーブル | 15.3(1)SY |
| QSFP-4SFP10G-CU3M | 3m の QSFP から 4 つの SFP+ への銅線ブレイクアウトケーブル | 15.3(1)SY |
| QSFP-4SFP10G-CU5M | 5m の QSFP から 4 つの SFP+ への銅線ブレイクアウトケーブル | 15.3(1)SY |
| QSFP-4X10G-AC7M | 7m の QSFP から 4 つの SFP+ への銅線ブレイクアウトケーブル | 15.3(1)SY |
| QSFP-4X10G-AC10M | 10m の QSFP から 4 つの SFP+ への銅線ブレイクアウトケーブル | 15.3(1)SY |
| QSFP-4X10G-AOC1M | 1m の QSFP から 4 つの SFP+ へのアクティブ光ブレイクアウトケーブル | 15.3(1)SY |
| QSFP-4X10G-AOC2M | 2m の QSFP から 4 つの SFP+ へのアクティブ光ブレイクアウトケーブル | 15.3(1)SY |
| QSFP-4X10G-AOC3M | 3m の QSFP から 4 つの SFP+ へのアクティブ光ブレイクアウトケーブル | 15.3(1)SY |
| QSFP-4X10G-AOC5M | 5m の QSFP から 4 つの SFP+ へのアクティブ光ブレイクアウトケーブル | 15.3(1)SY |
| QSFP-4X10G-AOC7M | 7m の QSFP から 4 つの SFP+ へのアクティブ光ブレイクアウトケーブル | 15.3(1)SY |
| QSFP-4X10G-AOC10M | 10m の QSFP から 4 つの SFP+ へのアクティブ光ブレイクアウトケーブル | 15.3(1)SY |
| CVR-4SFP10G-QSFP | 4 x SFP10G to QSFP リバースアダプタ | 15.3(1)SY |

XENPAK



注

- DWDM XENPAK の詳細については、Cisco 10GBase DWDM XENPAK モジュールのデータシートを参照してください。
http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/interfaces-modules/dwdm-transceiver-modules/product_data_sheet0900aecd801f9333.html

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|--------------------------|---|-----------------------|
| XENPAK-10GB-LRM | MMF 向け 10GBASE-LRM XENPAK モジュール 注 show idprom コマンドではサポートされません。(CSCsl21260) | 15.0(1)SY |
| DWDM-XENPAK-30.33 | 10GBASE 高密度波長多重分割 (DWDM) 100-GHz ITU グリッド | 15.0(1)SY |
| WDM-XENPAK-REC | 10GBASE 受信専用波長分割多重 (WDM) | 15.0(1)SY |
| XENPAK-10GB-CX4 | CX4 (銅線) ケーブル用 10GBASE、Infiniband コネクタを使用 | 15.0(1)SY |
| XENPAK-10GB-ER | 10GBASE-ER シリアル 1550 nm 距離拡張、シングルモードファイバ (SMF)、分散シフト型ファイバ (DSF) 注 次の外部フィールド通知 (CSCee47030) で説明されているように、部品番号 800-24557-01 の XENPAK-10GB-ER ユニットのサポートされていません。 http://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/field-notice/200/fn29736.html | 15.0(1)SY |
| XENPAK-10GB-ER+ | 10GBASE-ER シリアル 1550 nm 距離拡張、シングルモードファイバ (SMF)、分散シフト型ファイバ (DSF) | 15.0(1)SY |
| XENPAK-10GB-LR | 10GBASE-LR シリアル 1310 nm 長距離対応、シングルモードファイバ (SMF)、分散シフト型ファイバ (DSF) | 15.0(1)SY |
| XENPAK-10GB-LR+ | 10GBASE-LR シリアル 1310 nm 長距離対応、シングルモードファイバ (SMF)、分散シフト型ファイバ (DSF) | 15.0(1)SY |
| XENPAK-10GB-LW | SMF 用 WAN PHY 搭載 10GBASE-LW XENPAK モジュール 注 XENPAK-10GB-LW は、SONET/SDH OC-192/STM-64 と互換するインターフェイス速度で動作します。データレートが 9 Gbs を超えると、XENPAK-10GB-LW リンクがアップおよびダウンする可能性があります。(CSCsi58211) | 15.0(1)SY |
| XENPAK-10GB-LX4 | 10GBASE-LX4 シリアル 1310 nm マルチモード (MMF) | 15.0(1)SY |
| XENPAK-10GB-SR | 10GBASE-SR シリアル 850 nm 短距離マルチモード (MMF) | 15.0(1)SY |
| XENPAK-10GB-ZR | 任意の SMF タイプ用 10GBASE | 15.0(1)SY |

Small Form-Factor Pluggable (SFP) モジュール

- ギガビットイーサネット SFP (39 ページ)
- ファストイーサネット SFP (42 ページ)

ギガビットイーサネット SFP



注

- 低密度波長分割多重 (CWDM) SFP の詳細については、Cisco CWDM GBIC および SFP ソリューションのデータシートを参照してください。
http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/interfaces-modules/cwdm-transceiver-modules/product_data_sheet09186a00801a557c.html
- DWDM SFP の詳細については、CISCO CWDM GBIC および SFP ソリューションのデータシートを参照してください。
http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/interfaces-modules/dwdm-transceiver-modules/product_data_sheet0900aecd80582763.html
- サポートされていない DWDM-SFP については、「サポートされていないハードウェア」セクション (49 ページ) を参照してください。
- その他の SFP の詳細については、ギガビットイーサネットアプリケーション用 Cisco SFP 光モジュールのデータシートを参照してください。
http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/interfaces-modules/gigabit-ethernet-gbic-sfp-modules/product_data_sheet0900aecd8033f885.html

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|---------------------------------------|---|-----------------------|
| GLC-EX-SMD & | SMF 用 1000BASE-EX SFP トランシーバモジュール、波長 1310 nm、拡張動作温度範囲および DOM サポート、デュアル LC/PC コネクタ | 15.2(1)SY |
| GLC-BX-D | シングルストランド SMF 用 1000BASE-BX10 SFP モジュール、波長 1490 nm TX/1310 nm RX | 15.0(1)SY |
| GLC-BX-U | シングルストランド SMF 用 1000BASE-BX10 SF モジュール、波長 1310 nm TX/1490 nm RX | 15.0(1)SY |
| GLC-LH-SMD GLC-LH-SM | 1000BASE-LX/LH SFP 注 リリース 15.1(1)SY1 以降のリリースでは、WS-X6904-40G-2T でサポートされます。 | 15.0(1)SY |
| GLC-SX-MMD GLC-SX-MM | 1000BASE-SX SFP 注 リリース 15.1(1)SY1 以降のリリースでは、WS-X6904-40G-2T でサポートされます。 | 15.0(1)SY |

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|---------------------------------------|--|-----------------------|
| GLC-T | 1000BASE-T 10/100/1000 SFP モジュール 注 <ul style="list-style-type: none"> WS-X6904-40G-2T LC の場合、1000 Mbps でのみサポートされます。 リリース 15.1(1)SY1 以降のリリースでは、WS-X6904-40G-2T でサポートされます。 | 15.0(1)SY |
| GLC-ZX-SM GLC-ZX-SMD | 1000BASE-ZX SFP モジュール SMF 用 1000BASE-ZX SFP トランシーバモジュール、波長 1550 nm、デュアル LC/PC コネクタ | 15.0(1)SY |
| CWDM-SFP-1470 | CWDM 1470 nm (グレー) ギガビットイーサネット、1 および 2 Gb ファイバチャネル SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| CWDM-SFP-1490 | CWDM 1490 nm (バイオレット) ギガビットイーサネット、1 および 2 Gb ファイバチャネル SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| CWDM-SFP-1510 | CWDM 1510 nm (青) ギガビットイーサネット、1 および 2 Gb ファイバチャネル SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| CWDM-SFP-1530 | CWDM 1530 nm (緑) ギガビットイーサネット、1 および 2 Gb ファイバチャネル SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| CWDM-SFP-1550 | CWDM 1550 nm (黄) ギガビットイーサネット、1 および 2 Gb ファイバチャネル SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| CWDM-SFP-1570 | CWDM 1570 nm (オレンジ) ギガビットイーサネット、1 および 2 Gb ファイバチャネル SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| CWDM-SFP-1590 | CWDM 1590 nm (赤) ギガビットイーサネット、1 および 2 Gb ファイバチャネル SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| CWDM-SFP-1610 | CWDM 1610 nm (茶) ギガビットイーサネット、1 および 2 Gb ファイバチャネル SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-5817 | 1000BASE-DWDM 1558.17 nm SFP (100-GHz ITU グリッド) SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-5252 | 1000BASE-DWDM 1552.52 nm SFP (100-GHz ITU グリッド) SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-5172 | 1000BASE-DWDM 1551.72 nm SFP (100-GHz ITU グリッド) SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-5012 | 1000BASE-DWDM 1550.12 nm SFP (100-GHz ITU グリッド) SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-4692 | 1000BASE-DWDM 1546.92 nm SFP (100-GHz ITU グリッド) SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-4373 | 1000BASE-DWDM 1543.73 nm SFP (100-GHz ITU グリッド) SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-4214 | 1000BASE-DWDM 1542.14 nm SFP (100-GHz ITU グリッド) SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-3977 | 1000BASE-DWDM 1539.77 nm SFP (100-GHz ITU グリッド) SFP モジュール | 15.0(1)SY |

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|--|-----------------------|
| DWDM-SFP-3898 | 1000BASE-DWDM 1538.98 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-3582 | 1000BASE-DWDM 1535.82 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-3504 | 1000BASE-DWDM 1535.04 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-6061 | 1000BASE-DWDM 1560.61 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-5979 | 1000BASE-DWDM 1559.79 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-5898 | 1000BASE-DWDM 1558.98 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-5655 | 1000BASE-DWDM 1556.55 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-5575 | 1000BASE-DWDM 1555.75 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-5494 | 1000BASE-DWDM 1554.94 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-5413 | 1000BASE-DWDM 1554.13 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-5092 | 1000BASE-DWDM 1550.92 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-4851 | 1000BASE-DWDM 1548.51 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-4772 | 1000BASE-DWDM 1547.72 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-4612 | 1000BASE-DWDM 1546.12 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-4453 | 1000BASE-DWDM 1544.53 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-4294 | 1000BASE-DWDM 1542.94 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-4056 | 1000BASE-DWDM 1540.56 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-3819 | 1000BASE-DWDM 1538.19 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-3661 | 1000BASE-DWDM 1536.61 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-3425 | 1000BASE-DWDM 1534.25 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-3268 | 1000BASE-DWDM 1532.68 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール | 15.0(1)SY |

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|--|-----------------------|
| DWDM-SFP-3190 | 1000BASE-DWDM 1531.90 nm SFP (100-GHz ITU グリッド) SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-3112 | 1000BASE-DWDM 1531.12 nm SFP (100-GHz ITU グリッド) SFP モジュール | 15.0(1)SY |
| DWDM-SFP-3033 | 1000BASE-DWDM 1530.33 nm SFP (100-GHz ITU グリッド) SFP モジュール | 15.0(1)SY |

ファストイーサネット SFP



注

- ファストイーサネット SFP の詳細については、Cisco 100BASE-X SFP For Fast Ethernet SFP ポートのデータシートを参照してください。
http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/interfaces-modules/fast-ethernet-sfp-modules/product_data_sheet0900aecd801f931c.html

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|--------------------|-----------------------|
| GLC-FE-100BX-U | 100BASE-BX10-U SFP | 15.0(1)SY |
| GLC-FE-100BX-D | 100BASE-BX10-D SFP | |
| GLC-FE-100EX | 100BASEEX SFP | |
| GLC-FE-100ZX | 100BASEEX SFP | |
| GLC-FE-100FX | 100BASE-FX SFP | |
| GLC-FE-100LX | 100BASE-LX (SFP) | |
| GLC-GE-100FX | 100BASEEX SFP | |

ギガビットインターフェイス コンバータ (GBIC)



(注)

このセクションに記載されているサポートは、GBIC を使用するすべてのモジュールに適用されます。

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|--|-----------------------|
| WDM-GBIC-REC | 受信専用波長分割多重 (WDM) GBIC | 15.0(1)SY |
| DWDM-GBIC | 高密度波長分割多重 (DWDM) GBIC | 15.0(1)SY |
| CWDM-GBIC-1470 | Cisco 1000BASE-CWDM GBIC、1470 nm (グレー) | 15.0(1)SY |

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|--|-----------------------|
| CWDM-GBIC-1490 | Cisco 1000BASE-CWDM GBIC、1490 nm(パイオレット) | 15.0(1)SY |
| CWDM-GBIC-1510 | Cisco 1000BASE-CWDM GBIC、1510 nm(青) | 15.0(1)SY |
| CWDM-GBIC-1530 | Cisco 1000BASE-CWDM GBIC、1530 nm(緑) | 15.0(1)SY |
| CWDM-GBIC-1550 | Cisco 1000BASE-CWDM GBIC、1550 nm(黄) | 15.0(1)SY |
| CWDM-GBIC-1570 | Cisco 1000BASE-CWDM GBIC、1570 nm(オレンジ) | 15.0(1)SY |
| CWDM-GBIC-1590 | Cisco 1000BASE-CWDM GBIC、1590 nm(赤) | 15.0(1)SY |
| CWDM-GBIC-1610 | Cisco 1000BASE-CWDM GBIC、1610 nm(茶) | 15.0(1)SY |
| WS-G5483 | 1000BASE-T GBIC | 15.0(1)SY |
| WS-G5484 | 短波長、1000BASE-SX | 15.0(1)SY |
| WS-G5486 | 長波長/長距離、1000BASE-LX/LH | 15.0(1)SY |
| WS-G5487 | 超長距離、1000BASE-ZX | 15.0(1)SY |

サービスモジュール



注

- 独自のソフトウェアを実行するサービスモジュールの場合、最低限必要なサービスモジュールソフトウェアのバージョンについては、サービスモジュールソフトウェアのリリースノートを参照してください。
- サービスモジュールをサポートするポートチャネルインターフェイスを含めるようにSPANが設定されている場合は、[CSCth03423](#) と [CSCsx46323](#) に注意してください。
- EtherChannel構成は、一部のサービスモジュールに影響を与える可能性があります。特に、分散型EtherChannel(DEC)は、サービスモジュールのトラフィックに干渉する可能性があります。詳細については、次のField Noticeを参照してください:

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/field-notices/610/fn61935.html>

- [Application Control Engine \(ACE\) モジュール \(44 ページ\)](#)
- [ASA サービスモジュール \(44 ページ\)](#)
- [Network Analysis Module \(NAM\) \(45 ページ\)](#)
- [Network Analysis Module \(NAM\) \(45 ページ\)](#)
- [Network Analysis Module \(NAM\) \(45 ページ\)](#)
- [Wireless Services Module \(WiSM\) \(45 ページ\)](#)

Application Control Engine (ACE) モジュール

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|--------------------------------------|-----------------------|
| ACE30-MOD-K9 | Application Control Engine(ACE)モジュール | |
| | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.0(1)SY |

- ACE モジュールは独自のソフトウェアを実行します。次のマニュアルを参照してください。
<http://www.cisco.com/c/en/us/support/interfaces-modules/ace-application-control-engine-module/tsd-products-support-model-home.html>

最低限必要なサービスモジュールのソフトウェアバージョンについては、ACE モジュールのリリースノートを参照してください。

ASA サービスモジュール

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|-------------------------------|-----------------------|
| WS-SVC-ASA-SM1-K7 | ASA サービスモジュール | |
| | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.1(1)SY3 |
| WS-SVC-ASA-SM1-K9 | ASA サービスモジュール | |
| | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.0(1)SY1 |

- ASA サービスモジュールを設置する前に、最小のソフトウェアバージョン以上にアップグレードします(「EFSU の互換性」セクション(51 ページ)を参照)。
- ASA モジュールは独自のソフトウェアを実行します。次のマニュアルを参照してください。
<http://www.cisco.com/c/en/us/support/interfaces-modules/catalyst-6500-series-7600-series-asa-services-module/tsd-products-support-model-home.html>

最低限必要なサービスモジュールのソフトウェアバージョンについては、モジュールのリリースノートを参照してください。

Network Analysis Module (NAM)

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|--------------------------|-------------------------------|-----------------------|
| WS-SVC-NAM3-6G-K9 | ネットワーク解析モジュール 3 | |
| | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.0(1)SY1 |

- WS-SVC-NAM3-6G-K9 を設置する前に、リリース 15.0(1)SY1 以降にアップグレードします(「EFSU の互換性」セクション(51 ページ)を参照)。
- NAM モジュールは独自のソフトウェアを実行します。次のマニュアルを参照してください。
 - <http://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/prime-network-analysis-module-software/products-release-notes-list.html>
 - <http://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/prime-network-analysis-module-software/tsd-products-support-series-home.html>

最低限必要な NAM ソフトウェアのバージョンについては、ソフトウェアのリリースノートを参照してください。

Wireless Services Module (WiSM)

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|--|-------------------------------|-----------------------|
| WS-SVC-WISM2-1-K9 WS-SVC-WISM2-3-K9 WS-SVC-WISM2-5-K9 | ワイヤレス サービス モジュール 2 (WiSM2) | |
| | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.0(1)SY |

ワイヤレス サービス モジュールは独自のソフトウェアを実行します。次のマニュアルを参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/interfaces-modules/services-modules/products-release-notes-list.html>

最低限必要なワイヤレス サービス モジュールのソフトウェアバージョンについては、ワイヤレス サービス モジュール ソフトウェアのリリースノートを参照してください。

シャーシ

- 13 スロットシャーシ(46 ページ)
- 9 スロットシャーシ(47 ページ)
- 7 スロットシャーシ(48 ページ)
- 6 スロットシャーシ(48 ページ)
- 4 スロットシャーシ(49 ページ)
- 3 スロットシャーシ(49 ページ)



(注) 64 個の MAC アドレスを持つシャーシでは、**拡張システム ID** 機能が自動的にイネーブルになります。この機能は、**spanning-tree extend system-id** コマンドでイネーブルになります。64 個の MAC アドレスをサポートするシャーシでは、**拡張システム ID** をディセーブルにできません。**拡張システム ID** 機能は、**拡張範囲 VLAN** と 64 個の MAC アドレスを持つ両方のシャーシをサポートする必要があるため、すでにネットワークでイネーブルになっている可能性があります。**拡張システム ID** を初めてイネーブルにすると、すべてのアクティブな STP インスタンスのブリッジ ID が更新され、**スパニングツリートポロジ**が変更される場合があります。



(注) 新しい 40 ギガビットイーサネットスイッチング モジュール C6800-8P40G および C6800-8P40G-XL は、Catalyst 6807-XL でのみサポートされています。

13 スロットシャーシ



(注) Supervisor Engine 2T-10GE を使用すると、冗長なスーパーバイザエンジン用に予約されているスロットに次のいずれかのモジュールを装着できます。

- WS-X6148E-GE-45AT
- WS-X6148A-GE-TX

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|---|-----------------------|
| CISCO7613-S | <ul style="list-style-type: none"> • 13 スロット • スロット 7 とスロット 8 は、スーパーバイザエンジン用に予約されています。 • 64 個のシャーシの MAC アドレス | |
| | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.1(1)SY |
| C-6513-E | <ul style="list-style-type: none"> • 13 スロット • 64 個のシャーシの MAC アドレス | |
| | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.1(1)SY |

9 スロットシャーシ

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|---|---|
| WS-C6509-V-E | <ul style="list-style-type: none"> 9 垂直スロット 64 個のシャーシの MAC アドレス 必要な電源装置: <ul style="list-style-type: none"> - 2,500 W DC 以上 - 3,000 W AC 以上 | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 15.0(1)SY |
| | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | |
| WS-C6509-E | <ul style="list-style-type: none"> 9 水平スロット シャーシの MAC アドレス: <ul style="list-style-type: none"> - 2009 年 4 月以前: 1024 個のシャーシの MAC アドレス - 2009 年 4 月以降: 64 個のシャーシの MAC アドレス <p>注 64 個の MAC アドレスを持つシャーシでは、拡張システム ID 機能が自動的にイネーブルになります。この機能は、spanning-tree extend system-id コマンドでイネーブルになります。64 個の MAC アドレスをサポートするシャーシでは、拡張システム ID をディセーブルにできません。拡張システム ID 機能は、拡張範囲 VLAN と 64 個の MAC アドレスを持つ両方のシャーシをサポートする必要があるため、すでにネットワークでイネーブルになっている可能性があります。拡張システム ID を初めてイネーブルにすると、すべてのアクティブな STP インスタンスのブリッジ ID が更新され、スパンニングツリートポロジが変更される場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2,500 W 以上の電源装置が必要 | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 15.0(1)SY |
| | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | |
| CISCO7609-S | <ul style="list-style-type: none"> 9 垂直スロット 64 個のシャーシの MAC アドレス 必要な電源装置: <ul style="list-style-type: none"> - 2,500 W DC 以上 - 3,000 W AC 以上 | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 15.0(1)SY1 |
| | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | |

7 スロットシャーシ

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|--|-----------------------|
| CATALYST 6807-XL | <ul style="list-style-type: none"> 7 スロット 必要な電源装置: <ul style="list-style-type: none"> 3,000 W AC (C6800-XL-3KW-AC) | |
| | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.2(1)SY |
| | Supervisor Engine 6T で使用 | 15.3(1)SY |

6 スロットシャーシ

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|---|-----------------------|
| WS-C6506-E | <ul style="list-style-type: none"> 6 スロット シャーシの MAC アドレス: <ul style="list-style-type: none"> 2009 年 4 月以前:1024 個のシャーシの MAC アドレス 2009 年 4 月以降:64 個のシャーシの MAC アドレス <p>注 64 個の MAC アドレスを持つシャーシでは、拡張システム ID 機能が自動的にイネーブルになります。この機能は、spanning-tree extend system-id コマンドでイネーブルになります。64 個の MAC アドレスをサポートするシャーシでは、拡張システム ID をディセーブルにできません。拡張システム ID 機能は、拡張範囲 VLAN と 64 個の MAC アドレスを持つ両方のシャーシをサポートする必要があるため、すでにネットワークでイネーブルになっている可能性があります。拡張システム ID を初めてイネーブルにすると、すべてのアクティブな STP インスタンスのブリッジ ID が更新され、スパンニングツリートポロジが変更される場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2,500 W 以上の電源装置が必要 | |
| | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.0(1)SY |
| CISCO7606-S | <ul style="list-style-type: none"> 6 スロット 64 個のシャーシの MAC アドレス | |
| | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | 15.1(1)SY1 |

4 スロットシャーシ

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|---|-----------------------|
| WS-C6504-E | <ul style="list-style-type: none"> 4 スロット 64 個のシャーシの MAC アドレス | 15.0(1)SY |
| | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | |
| CISCO7604 | <ul style="list-style-type: none"> 4 スロット 64 個のシャーシの MAC アドレス | 15.1(1)SY |
| | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | |

3 スロットシャーシ

| 製品 ID (スペア用には「=」を付加) | 製品の説明 | 最小 ソフトウェア バージョン |
|-------------------------|--|-----------------------|
| WS-C6503-E | <ul style="list-style-type: none"> 3 スロット 64 個のシャーシの MAC アドレス WS-X6904-40G-2T および WS-X6908-10GE は、WS-C6503-E ハードウェアリビジョン 1.3 以降でのみサポートされます。 | 15.0(1)SY |
| | Supervisor Engine 2T-10GE で使用 | |

サポートされていないハードウェア

リリース 15.5(1)SY は、「サポート対象ハードウェア」セクション(3 ページ)に記載されているハードウェアのみをサポートします。サポートされていないモジュールが検出された場合、電源はオフのまま、システムの動作には影響しません。

リリース 15.5(1)SY は、次のモジュールをサポートしていません。

- Supervisor Engine 720-10GE および Supervisor Engine 720
- 6880-X シリーズ拡張可能な固定アグリゲーションスイッチ(リリース 15.5(1)SY のみ)
- 6840-X シリーズ固定アグリゲーションスイッチ(リリース 15.5(1)SY のみ)
- WS-SVC-FWM-1-K9
- WS-SVC-IDS2-BUN-K9
- WS-SVC-NAM-1
- WS-SVC-NAM-2
- WS-SVC-NAM-1-250S
- WS-SVC-NAM-2-250S
- WS-X6548-RJ-45

- WS-X6548-RJ-21
- WS-X6348-RJ45V
- WS-X6348-RJ-45
- WS-X6348-RJ21V
- WS-X6196-RJ-21
- WS-X6196-21AF
- WS-X6148X2-RJ-45
- WS-X6148X2-45AF
- WS-X6148-RJ45V
- WS-X6148-RJ-45
- WS-X6148-RJ21V
- WS-X6148-RJ-21
- WS-X6148A-RJ-45
- WS-X6148A-45AF
- WS-X6148-45AF
- WS-X6148-21AF
- WS-X6524-100FX-MM
- WS-X6324-100FX-MM
- WS-X6148-FE-SFP
- WS-X6548V-GE-TX
- WS-X6548-GE-TX
- WS-X6548-GE-45AF
- WS-X6516-GE-TX
- WS-X6148V-GE-TX
- WS-X6148A-GE-45AF
- WS-X6148-GE-TX
- WS-X6148-GE-45AF
- WS-X6816-GBIC
- WS-X6516-GBIC
- WS-X6516A-GBIC
- WS-X6416-GBIC
- WS-X6408-GBIC
- WS-X6408A-GBIC
- WS-X6502-10GE
- WS-F6K-DFC3A
- WS-F6K-DFC3B
- WS-F6K-DFC3BXL
- WS-CAC-2500W

- PWR-950-AC
- WS-C6513

イメージとフィーチャセット

リリース 15.4SY のイメージとフィーチャセットに関する情報を表示するには、[Cisco Feature Navigator](#) を使用します。

このリリースには、強力な暗号化イメージが含まれます。強力な暗号化イメージは、米国および各国の輸出、輸入、および使用に関する法律の対象となります。シスコの暗号化ソリューションを受領および使用できるエンドユーザーの国とクラスは制限されています。詳細については、次のマニュアルを参照してください。

http://www.cisco.com/web/about/doing_business/legal/global_export_trade/general_export/contract_compliance.html

EFSU の互換性

[SX SY EFSU の互換性マトリックス \(XLSX - Microsoft Excel で開く\)](#)

Cisco IOS の動作の変更

動作の変更は、ソフトウェアリリースで導入される可能性のある小規模な変更を表します。動作の変更が導入されると、既存のドキュメントが更新されます。

リリース 15.5(1)SY6 での Cisco IOS 動作の変更

- [CSCvc84848](#): IBGP パスが RPKI Valid とマークされる
- [CSCve92382](#): 修正が必要な非表示 CLI「database-mapping」「map-cache」がサポートされていない

リリース 15.5(1)SY5 での Cisco IOS 動作の変更

なし

リリース 15.5(1)SY4 での Cisco IOS 動作の変更

なし

リリース 15.5(1)SY3 での Cisco IOS 動作の変更

- [CSCvk61214](#) – mtrose: PIM デンスモードで非推奨として表示される警告メッセージの変更
- [CSCvm94652](#) – 小さいパケットのパディングが有効になっている場合 STP/BPDU の不整合問題が確認される

リリース 15.5(1)SY3 より前のリリースでの Cisco IOS 動作の変更

- [CSCve84812](#) – プラットフォームのマルチキャスト転送高速リダイレクトの設定でスイッチがクラッシュする
- [CSCvd09494](#) – SFP10G 2、3、4 のいずれかを削除すると LACK_CHANNEL エラーが連続して検出される

- [CSCvc97657](#) – 「show issu state detail」の CLI で変更があり、新しいサブ状態を CLI に追加

リリース 15.5(1)SY11 の新機能

次のセクションでは、2023 年 3 月 21 日におけるリリース 15.5(1)SY11 の新機能を説明します。

- [リリース 15.5\(1\)SY11 の新しいハードウェア機能 \(52 ページ\)](#)
- [リリース 15.5\(1\)SY11 の新しいソフトウェア機能 \(52 ページ\)](#)

リリース 15.5(1)SY11 の新しいハードウェア機能

なし

リリース 15.5(1)SY11 の新しいソフトウェア機能

データのサニタイズ: 単純で非侵襲的なデータリカバリ技術または最先端の実験技術によってデータをリカバリ不能にレンダリングする米国国立標準技術研究所 (NIST) のパージメソッドの使用をサポートします。

リリース 15.5(1)SY10 の新機能

次のセクションでは、2022 年 9 月 15 日におけるリリース 15.5(1)SY10 の新機能を説明します。

- [リリース 15.5\(1\)SY10 の新しいハードウェア機能 \(52 ページ\)](#)
- [リリース 15.5\(1\)SY10 の新しいソフトウェア機能 \(52 ページ\)](#)

リリース 15.5(1)SY10 の新しいハードウェア機能

なし

リリース 15.5(1)SY10 の新しいソフトウェア機能

なし

リリース 15.5(1)SY9 の新機能

次のセクションでは、2022 年 3 月 17 日におけるリリース 15.5(1)SY9 の新機能を説明します。

- [リリース 15.5\(1\)SY9 の新しいハードウェア機能 \(53 ページ\)](#)
- [リリース 15.5\(1\)SY9 の新しいソフトウェア機能 \(53 ページ\)](#)

リリース 15.5(1)SY9 の新しいハードウェア機能

なし

リリース 15.5(1)SY9 の新しいソフトウェア機能

なし

リリース 15.5(1)SY8 の新機能

次のセクションでは、2021 年 9 月 18 日におけるリリース 15.5(1)SY8 の新機能を説明します。

- [リリース 15.5\(1\)SY8 の新しいハードウェア機能 \(53 ページ\)](#)
- [リリース 15.5\(1\)SY8 の新しいソフトウェア機能 \(53 ページ\)](#)

リリース 15.5(1)SY8 の新しいハードウェア機能

なし

リリース 15.5(1)SY8 の新しいソフトウェア機能

なし

リリース 15.5(1)SY7 の新機能

次のセクションでは、2021 年 3 月 18 日におけるリリース 15.5(1)SY7 の新機能を説明します。

- [リリース 15.5\(1\)SY7 の新しいハードウェア機能 \(53 ページ\)](#)
- [リリース 15.5\(1\)SY7 の新しいソフトウェア機能 \(53 ページ\)](#)

リリース 15.5(1)SY7 の新しいハードウェア機能

なし

リリース 15.5(1)SY7 の新しいソフトウェア機能

なし

リリース 15.5(1)SY6 の新機能

次のセクションでは、2020 年 9 月 18 日におけるリリース 15.5(1)SY6 の新機能を説明します。

- [リリース 15.5\(1\)SY6 の新しいハードウェア機能 \(54 ページ\)](#)
- [リリース 15.5\(1\)SY6 の新しいソフトウェア機能 \(54 ページ\)](#)

リリース 15.5(1)SY6 の新しいハードウェア機能

なし

リリース 15.5(1)SY6 の新しいソフトウェア機能

- パスワード強化:
 - Type 5 パスワードを複雑な Type 9 (不可逆的) パスワードに自動変換します。
 - Type 0 および Type 7 パスワードを Type 6 (可逆的) パスワードに自動変換します。



(注)

現在のパスワードタイプをサポートしていないリリースにダウングレードすると、ダウングレードの完了時にデバイスからロックアウトされます。このロックアウトを回避するには、必要なリリースにダウングレードする前に、そのリリースでサポートされているパスワードタイプを設定してください。詳細については [こちら](#) を参照してください。

リリース 15.5(1)SY5 の新機能

次のセクションでは、リリース 15.5(1)SY5 (2020 年 3 月 18 日) の新機能を説明します。

- [リリース 15.5\(1\)SY5 の新しいハードウェア機能 \(54 ページ\)](#)
- [リリース 15.5\(1\)SY5 の新しいソフトウェア機能 \(54 ページ\)](#)

リリース 15.5(1)SY5 の新しいハードウェア機能

なし

リリース 15.5(1)SY5 の新しいソフトウェア機能

- パスワード強化:
 - タイプ 6 および複雑なタイプ 9 のパスワードのサポート。
- IANA 設定を使用した VRF 対応 DHCP オプション 82

リリース 15.5(1)SY4 の新機能

次のセクションでは、リリース 15.5(1)SY4 (2019 年 9 月 12 日) の新機能を説明します。

- [リリース 15.5\(1\)SY4 の新しいハードウェア機能 \(54 ページ\)](#)
- [リリース 15.5\(1\)SY4 の新しいソフトウェア機能 \(55 ページ\)](#)

リリース 15.5(1)SY4 の新しいハードウェア機能

なし

リリース 15.5(1)SY4 の新しいソフトウェア機能

- パスワード強化:
 - タイプ 4 パスワードの廃止。
 - タイプ 0、タイプ 5、およびタイプ 7 のパスワードに関する警告。
- セキュア Field Programmable Gate Array (FPGA) のサポート
- NAT Netflow 使用率を表示する **show plat nat translation statistics** コマンド。
- CISCO-NAT-STAT-MIB のサポート

セキュア FPGA のサポート

セキュア FPGA は、FPGA シリアルペリフェラルインターフェイス (SPI) フラッシュの Gold リージョンを保護する機能です。FPGA は、FPGA フラッシュの Gold リージョンに対する変更を防止します。Cisco IOS は、最新のセキュア FPGA イメージをバンドルし、FPGA フラッシュの Gold リージョンおよび Upgrade リージョンをこのイメージに自動アップグレードしてこの変更を防止します。リリース 15.5(1)SY4 では、Cisco IOS FPGA 自動アップグレード手順の変更が導入されています。



(注)

Cisco IOS リリース 15.5(1)SY4 にアップグレードする前に、「[Secure Field Programmable Gate Array](#)」と「[Performing FPGA Upgrade](#)」で FPGA 自動アップグレード手順の変更と FPGA アップグレードの実行方法に関する詳細情報を参照してください。

リリース 15.5(1)SY3 の新機能

次のセクションでは、2020 年 3 月 27 日におけるリリース 15.5(1)SY3 の新機能を説明します。

- [リリース 15.5\(1\)SY3 の新しいハードウェア機能 \(55 ページ\)](#)
- [リリース 15.5\(1\)SY3 の新しいソフトウェア機能 \(55 ページ\)](#)

リリース 15.5(1)SY3 の新しいハードウェア機能

なし

リリース 15.5(1)SY3 の新しいソフトウェア機能

- IGMP プロキシへの PIM Join のサポート

リリース 15.5(1)SY2 の新機能

次のセクションでは、リリース 15.5(1)SY2 (2018 年 9 月 17 日) の新機能を説明します。

- [リリース 15.5\(1\)SY2 の新しいハードウェア機能 \(56 ページ\)](#)
- [リリース 15.5\(1\)SY2 の新しいソフトウェア機能 \(56 ページ\)](#)

リリース 15.5(1)SY2 の新しいハードウェア機能

なし

リリース 15.5(1)SY2 の新しいソフトウェア機能

- VPLS BGP ベースの自動検出高可用性
- インターフェイス テンプレート ACL のサポート

リリース 15.5(1)SY1 の新機能

次のセクションでは、リリース 15.5(1)SY1(2018 年 3 月 8 日)の新機能を説明します。

- [リリース 15.5\(1\)SY1 の新しいハードウェア機能\(56 ページ\)](#)
- [リリース 15.5\(1\)SY1 の新しいソフトウェア機能\(56 ページ\)](#)

リリース 15.5(1)SY1 の新しいハードウェア機能

なし

リリース 15.5(1)SY1 の新しいソフトウェア機能

- SDA – フェーズ 1.1
 - L2 オーバーレイ、MAC ベースの EID
 - ブロードキャスト アンダーレイのサポート/リンク ローカル マルチキャスト
 - LISP IPv4 エクストラネット
 - SDA ファブリックを使用した出力 WCCP のサポート
- VRF 経由の PnP
- 単一シャーシ VSS
- URL リダイレクトプライオリティの拡張
- OpenFlow
- 自動インストール/ZTP
- PKI OCSP

リリース 15.5(1)SY の新機能

次のセクションでは、リリース 15.5(1)SY(2017 年 5 月 22 日)の新機能を説明します。

- [リリース 15.5\(1\)SY の新しいハードウェア機能\(57 ページ\)](#)
- [リリース 15.5\(1\)SY の新しいソフトウェア機能\(57 ページ\)](#)

リリース 15.5(1)SY の新しいハードウェア機能

- C6800-8P40G
- C6800-8P40G-XL

リリース 15.5(1)SY の新しいソフトウェア機能

なし

以前のリリースからのソフトウェア機能

以前のリリースで導入されたサポート対象の機能を表示するには、[Cisco Feature Navigator](#) を使用します。

サポートされていない機能

次の機能はサポートされていません。

- MACsec Key Agreement (MKA)
- Smart Install
- Data Link Switching (DLSw)
- シリアルトンネル (STUN)
- Bisync Serial Tunnel (BSTUN)
- Airline Product Set (ALPS)
- ソースルートブリッジ (SRB)
- Source-Route Translational Bridge (SRTLb)
- Remote Source-Route Bridging (RSRB)
- SNA Switching Services (SNASw)
- DownStream Physical Unit (DSPU)
- 論理リンク制御 (LLC)
- Cisco Link Services (CLS)
- Qualified Logical Link Control (QLLC)
- トークンリングスイッチング
- 非同期 POS (APOS)
- Bisync IP (BiP)

リリース 15.5(1)SY11 の制約事項

なし

リリース 15.5(1)SY10 の制約事項

なし

リリース 15.5(1)SY9 の制約事項

なし

リリース 15.5(1)SY8 の制約事項

なし

リリース 15.5(1)SY7 の制約事項

なし

リリース 15.5(1)SY6 の制約事項

なし

リリース 15.5(1)SY5 の制約事項

なし

リリース 15.5(1)SY4 の制約事項

| 識別子 | コンポーネント | 説明 |
|----------------------------|--------------|---|
| CSCvp49126 | cat6000: acl | スタティック NAT エントリが「clear plat flow ip」の後に更新されない |
| CSCvr07662 | cat6000: acl | DAI 機能が DHCP スヌーピング機能と競合する |
| CSCvq03487 | cat6000: acl | フローエントリのタイムアウト後にダイナミック NAT エントリ数がクリアされない |

リリース 15.5(1)SY3 の制約事項

| 識別子 | コンポーネント | 説明 |
|----------------------------|-------------------|--|
| CSCvp49120 | accsw-ease-of-use | vstack とそれに関連する CLI が有効になっている C6k では、15.5(1)SY3 への ISSU アップグレードが失敗する |

リリース 15.5(1)SY2 の制約事項

| 識別子 | コンポーネント | 説明 |
|----------------------------|-----------------|--|
| CSCvi62529 | cat6000-routing | SSO および stdbyp SUP の起動後に STDBY SUP の L2 トラフィックの入力/出力がダウンする |

リリース 15.5(1)SY1 の制約事項

| 識別子 | コンポーネント | 説明 |
|----------------------------|-------------|--|
| CSCvi28828 | nat | IP アドレスが重複する場合、ルートマップを使用したスタティック NAT よりもダイナミック NAT が優先される。 |
| CSCvf91588 | | DNA-SA: リモート MAC が、優先順位の高い RLOC のシャットダウン時に l2fib で無効になる |
| CSCvf90572 | lisp | L2 マップキャッシュエントリでは、リモートピアのリロード時にリモート MAC EID の学習に 52 秒かかる |
| CSCvf94336 | sisf | MAC は「show device-tracking database Mac」でのトラフィックフローの 5 分後に到達不能として表示される |
| CSCvg87913 | pnpa | Cat6K-PnP: Cisco Cloud Discovery は cat6K vrf 管理インターフェイスではサポートされない |
| CSCvf50885 | autoinstall | Cat6K-PnP: tftp://255.255.255.255/ciscotr.cfg を開くときの%エラー |

リリース 15.5(1)SY の制約事項

- C6800-8P40G カードは 40 G モードでのみ動作できます。
- ハードウェアバージョン 2.1 以降の以下に示すラインカードには、新しいハードウェアコンポーネントが搭載されており、新しい ROMMON イメージバージョン 15.2(1r)SYL3 が付属しています。

| PID | ハードウェアバージョン | IOS リリース | 制限事項 |
|---|-------------|---|---|
| C6800-32P10G-XL C6800-32P10G C6800-16P10G-XL C6800-16P10G C6800-8P10G-XL C6800-8P10G | 2.1 以降 | IOS バージョン 15.2(1)SY4 以降、 15.4(01)SY02 以降、 15.5(1)SY 以降 | なし |
| | | 15.2(1)SY4、 15.4(01)SY02、 15.5(1)SY よりも前の IOS バージョン | ラインカードは、オンボード障害ロギング (OBFL) 機能がなくても動作し続けます。OBFL を機能させるには、サポートされている IOS へのアップグレードが必要です。 |
| | 2.1 よりも前 | IOS バージョン 15.2(1)SY4 以降、 15.4(01)SY02 以降、 15.5(1)SY 以降 | なし |
| | | 15.2(1)SY4、 15.4(01)SY02、 15.5(1)SY よりも前の IOS バージョン | なし |

- ハードウェアバージョン 2.2 以降の以下に示すラインカードには、新しいハードウェアコンポーネントが搭載されており、新しい ROMMON イメージバージョン 15.2(02r)SYL3 が付属しています。

| PID | ハードウェアバージョン | IOS リリース | 制限事項 |
|-------------------------------------|-------------|---|---|
| C6800-X-16P10G C6800-X-LE-16P10G | 2.2 以降 | IOS バージョン 15.2(1)SY4 以降、 15.4(01)SY02 以降、 15.5(1)SY 以降 | なし |
| | | 15.2(1)SY4、 15.4(01)SY02、 15.5(1)SY よりも前 の IOS バージョン | ラインカードは、オン ボード障害ロギング (OBFL)機能がなくて も動作し続けます。 OBFL を機能させるに は、サポートされてい る IOS へのアップグ レードが必要です。 |
| | 2.2 より前 | IOS バージョン 15.2(1)SY4 以降、 15.4(01)SY02 以降、 15.5(1)SY 以降 | なし |
| | | 15.2(1)SY4、 15.4(01)SY02、 15.5(1)SY よりも前 の IOS バージョン | なし |

リリース 15.5(1)SY11 の不具合

リリース 15.5(1)SY11 の未解決の不具合

なし

リリース 15.5(1)SY11 で解決済みの不具合

| 識別子 | コンポーネント | 説明 |
|----------------------------|-------------|--|
| CSCvy45135 | polaris-aaa | Message-Authenticator 属性が間違っているため、ISE への RADIUS 要求がドロップされた |

リリース 15.5(1)SY10 の不具合

リリース 15.5(1)SY10 の未解決の不具合

なし

リリース 15.5(1)SY10 で解決済みの不具合

| 識別子 | コンポーネント | 説明 |
|----------------------------|-------------|---|
| CSCwb12806 | cat6000-ipc | ip helper-address を送信元として使用する着信 DHCP パケットを処理しているときに、Cat6800 sup 2T でクラッシュする |
| CSCwc49173 | cat6000-l2 | LC のリセット中に CTS セッションを閉じると、SCP メッセージに時間がかかる |

リリース 15.5(1)SY9 の不具合

リリース 15.5(1)SY9 の未解決の不具合

なし

リリース 15.5(1)SY9 で解決済みの不具合

| 識別子 | コンポーネント | 説明 |
|----------------------------|-------------------|---|
| CSCvz39074 | cat6000-hw-fwding | Cat6K: OSPF FRR ELIF が隣接関係テーブルでスタックする |
| CSCwa56283 | cat6000-firmware | Sup6T/6880-X: VLAN 番号の破損により、破損したコントロールプレーンパケット (udld、lacp、stp) が表示される |

リリース 15.5(1)SY8 の不具合

リリース 15.5(1)SY8 の未解決の不具合

なし

リリース 15.5(1)SY8 で解決済みの不具合

| 識別子 | コンポーネント | 説明 |
|----------------------------|------------------|--|
| CSCvx46955 | l2vpn | L2VPN 0.0.0.0/96 エントリの問題 |
| CSCvx58135 | cat6000-l2-infra | C6880: ポートで flowcontrol send 設定を削除できない |
| CSCvx37374 | cat6000-env | Cat6K Sup6T: 40G インターフェイスで ARP パケットをドロップする |

| | | |
|------------|-----------------|--|
| CSCvz20517 | cat6000-netflow | pnp startup-vlan<vlan> の設定で NDE_0 インターフェイスがトリガーされ、show cdp interface で up/up 状態になる |
|------------|-----------------|--|

リリース 15.5(1)SY7 の不具合

リリース 15.5(1)SY7 の未解決の不具合

なし

リリース 15.5(1)SY7 で解決済みの不具合

| 識別子 | コンポーネント | 説明 |
|------------|-------------------|---|
| CSCvv01053 | cat6000-ha | C6509-E/Sup2T:SW1 の起動後に VSS 固有のトラフィックがダウンする |
| CSCvv18136 | mfib | SVI で PIM 機能を有効にできない |
| CSCvv65437 | pnpa | Cat6k: スイッチポート設定後に CDP TLV で pnp startup vlan がアダバタイズされない |
| CSCvv92364 | cat6000-hw-fwding | 「CM INTR タスク」の保持メモリ増加に伴って CPU が高くなる。 |
| CSCvv93342 | mcast-fib | マルチキャストによるメモリ破損が原因で、ラインカードがクラッシュする |
| CSCvw12603 | mcast-pim | 155-1.SY4 へのアップグレード後、PIM アサートの生成時に MFIB_IPC および IPC NOBLOCK エラーログが出力される |
| CSCvw45714 | aaa | 秘密が、ハッシュアルゴリズム設定を使用した TACACS+ コマンドアカウンティング/認証を介してクリアテキスト形式で送信される |
| CSCvw57370 | cat6000-routing | Cat6K: OSPF IP FRR が設定されている場合、ARP の隣接関係が HW CEF で MPLS エントリとしてプログラムされる |
| CSCvw70243 | cat6000-l2 | shut/no-shut 後に min-links を使用したポートチャネルがフラップする。 |

リリース 15.5(1)SY6 の不具合

リリース 15.5(1)SY6 の未解決の不具合

| 識別子 | コンポーネント | 説明 |
|----------------------------|-------------|---|
| CSCvv65993 | config-sync | Cat6500 SUP2T:5 番目のスロットで slavebootdisk のフォーマットに失敗する |

リリース 15.5(1)SY6 で解決済みの不具合

| 識別子 | コンポーネント | 説明 |
|----------------------------|--------------------|---|
| CSCvt08994 | cts | 無効な SGT の CTS イーグレスポリシーを -1 または ANY として処理しているときに、スイッチがクラッシュするか、CPU 使用率が高くなる |
| CSCvr82708 | sisf | ISSU 経由でアップグレードするとデバイスがクラッシュする |
| CSCvs53186 | cat6000-dot1x | 15.5(1)SY3 の 6807-XL スイッチで SISF がクラッシュする |
| CSCvt21717 | cat6000-acl-fwding | 「IP マルチキャスト境界」で未定義の ACL がトラフィックを CPU にパントする |
| CSCvt26023 | parser | term shell を使用すると、Cat6800 がクラッシュする |
| CSCvt96939 | cat6000-hw-fwding | SVI の VPLS 使用例で使用した 1 つ以上の EARL に HSRP VMAC がない |
| CSCvu12905 | cat6000-l2-mcast | Cat6k Sup2T:DHCPv6 制御パケットを VPLS 回線を介して転送すると MLD によってスヌーピングされる |

リリース 15.5(1)SY5 の不具合

リリース 15.5(1)SY5 の未解決の不具合

なし

リリース 15.5(1)SY5 で解決済みの不具合

| 識別子 | コンポーネント | 説明 |
|------------|-------------------|--|
| CSCvg45950 | sap | cts インターフェイス経由で 40 G トラフィックが送信されると、パケットのドロップが断続的に発生する |
| CSCvi48253 | pki | 自己署名証明書は 2020 年 1 月 1 日 00:00 (UTC) に期限が切れ、その後作成できない |
| CSCvj47973 | cat6000-hw-fwding | コントロールプレーン インターフェイスに UP ステータスが表示されない |
| CSCvq97772 | cat6000: acl | DHCP スヌーピングが有効になっているトンネルインターフェイスで DHCP オファーを処理すると、スイッチがクラッシュする場合があります |
| CSCvr02688 | aaa | 「login block-for」および「login quiet-mode access-class」の再構成後にリロードする |
| CSCvr04928 | cat6000-span | 6800 Sup 6T VSS の ERSPAN 宛先では、パケットが宛て先ポートに複製されない |
| CSCvr06927 | flexible-netflow | 「show flow monitor x cache format table」を実行した後に CPUHOG エラーが発生し、LC がクラッシュする |
| CSCvr23401 | cat6000-cts | C6K スイッチではプロキシにデバイス SGT を追加すると、エンドホストの送信元 IP を維持したまま、IGMP 脱退メッセージが生成される |
| CSCvr37717 | mcast-pim | PIM プロセスによりクラッシュが発生する |
| CSCvr51938 | cat6000: acl | DHCP パケット検証でクラッシュが発生する |
| CSCvr83942 | cat6000: acl | スタンバイでの ROMMON/ソフトウェアバージョンのアップグレード中に、アクティブスイッチが dhcp プロセスでクラッシュする |

リリース 15.5(1)SY4 の不具合

リリース 15.5(1)SY4 の未解決の不具合

| 識別子 | コンポーネント | 説明 |
|------------|--------------|---|
| CSCvq89131 | cat6000-ha | ISSU - SUP2T-HA - LV での FIB XDR クライアントエラー |
| CSCvq90646 | cat6000: acl | 外部から内部への NAT トラフィックは ISSU 中にドロップされる |

リリース 15.5(1)SY4 で解決済みの不具合

| 識別子 | コンポーネント | 説明 |
|------------|------------|---|
| CSCuv90519 | ipsec-core | トンネルの送信元アドレスの変更後に IKEv2 セッションが起動しない |
| CSCvb89928 | parser | 3 メンバスタックのリロード中に mips64_linux_iosd_ngwc コアで Cat3850 がクラッシュする |
| CSCvd04425 | cdp | c6500 は CDP トリガーに反応しない |
| CSCve63165 | ssh | ASR903 RSP1 は ssh_buffer_append、ssh2_packet_start でクラッシュする |
| CSCvf33000 | snmp | SNMP ACL が設定されている場合、「unknownSnmpEngineID」の SNMP レポートをブロックする CLI コマンドを追加する |
| CSCvh55744 | ssh | SSH パスワードの長さは 25 文字に制限される |

| | | |
|------------|-----------------|---|
| CSCvh61330 | ssh | 3650:TTY バックグラウンドプロセスにより CPU 使用率が高くなる |
| CSCvj85568 | XDR | XDR が無効になっているログは、より高いシビラティ(重大度)で印刷される必要がある |
| CSCvk56331 | ipsec-core | IKEv1 フェーズ 2 キー再生成(QM1)の初回コンタクトにより、すべての暗号セッションがドロップされる |
| CSCvm73100 | cat6000: acl | cat6880x:heaps_process メモリ破損のチェックが原因でクラッシュする |
| CSCvn98904 | sap | 構成に AES 暗号化および macsec(CTS)が含まれている場合、スタンバイは VSS で継続的にリロードされる |
| CSCvo35441 | cat6000-env | Cat6832 VSS では show tech で「Standby console disabled」が表示される |
| CSCvo40575 | ribinfra | ルートマップを含む Distribute-list では、すべての OSPF IPv6 ルートがブロックされる |
| CSCvo58195 | ip | HSRP VIP はローカルで到達できない |
| CSCvo90231 | bgp | BGP を使用した show alignment の出力にスプリアアクセスが表示される |
| CSCvp26761 | cat6000-snmp | pethPsePortOnOffNotification トラップは無効にしても存在する |
| CSCvp39459 | cat6000-mcast | cat6k ipv6 mld スヌーピングの explicit-tracking エージングカウンタエラー |
| CSCvp68962 | cat6000-diag | クアドスーパーバイザを使用する C6807-XL VSS でモジュール/スロット 3 にマイナーエラーが示される |
| CSCvp70362 | cat6000-routing | フルシャーシのリロード後に、直接接続の ping が失敗する |
| CSCvp71334 | sisf | XTR でトレースバックが表示される |
| CSCvq09071 | cat6000-mpls | MPLS コアの ECMP は、「ip cef accounting non-recursive」を設定すると破損する |
| CSCvq25824 | cat6000: acl | SUP2T:デバイストラッキングが原因で SVI を削除できない |
| CSCvq73364 | mcast-fib | mVPN: マルチキャストパケットがドロップされ、「%MFIB-SW2-3-MFIB_CTXT_DEPTH_EXCEEDED」が連続して出力される |

リリース 15.5(1)SY3 の不具合

リリース 15.5(1)SY3 の未解決の不具合

| 識別子 | コンポーネント | 説明 |
|----------------------------|-------------|--|
| CSCvo35441 | cat6000-env | Cat6832 VSS では show tech で「Standby console disabled」が表示される |
| CSCvo69942 | cat6000-12 | TCN 後の MAC テーブルのフラッシュでの sup6t // mst // 遅延 |
| CSCvo82251 | cat6000-12 | sup6t を使用する C6807 が起動するときに、ポートチャネルのコンバージェンス前に STP アクションが完了する |

リリース 15.5(1)SY3 で解決済みの不具合

| 識別子 | コンポーネント | 説明 |
|----------------------------|-------------------|--|
| CSCvi86071 | parser | アーカイブで SCP パスを設定した後にクラッシュが発生する |
| CSCvk73350 | polaris-aaa | デフォルトの暗号化タイプが username <> secret のタイプ 9 に変更される |
| CSCvf84349 | eigrp | cEigrpPeerEntry のポーリング時にルータがクラッシュする |
| CSCvi55399 | cat6000-12-mcast | FIB スペースの制限に達し、一部の IPv6 マルチキャストルートがハードウェアテーブルに存在しなくなる場合がある |
| CSCvk29155 | mcast-fib | マルチキャストメモリ オーバーレイ ラインカードがクラッシュする |
| CSCvm12991 | cat6k-vs-infra | eFSU/ISSU および Standby Sup のリロード後に、Sup6T - VSDA リンクが up/down 状態に移行する |
| CSCvm15692 | cat6000-dot1x | dot1x 認証に失敗した場合、EPM で Sup2T がクラッシュする |
| CSCvm37443 | cat6000-diag | Ginband での Rx ドロップにより、すべてのポートで Cat6K- C68xx/sup6T/ TestNonDisruptiveLoopback が失敗する |
| CSCvm61500 | mcast-vpn | MDT のデフォルトしきい値を超えたときに、mroute が MDT データにスイッチングされない |
| CSCvm69018 | lisp | lispMIB のポーリング時または SNMP-walk 中にクラッシュする |
| CSCvm94652 | cat6000-hw-fwding | 小さいパケットのパディングが有効になっている場合 STP/BPDU の不整合の問題を監視する |
| CSCvm94759 | cat6000-firmware | stdby-sup から Sup6t の 40 G VSL を通過する CAP1 トラフィックは、RBH FLTR によりポート #10 で重複する |
| CSCvn04334 | mcast-fib | ラインカードから mfib 統計を読み取るときに Cat6k がクラッシュする |
| CSCvn05254 | mcast-fib | スイッチオーバー中、トラフィックは MDT デフォルトから MDT データにスイッチされない |
| CSCvn07597 | cat6000-fabric | Sup6t を通過するパケットフローでは、FPOE の誤ったプログラミングによって、一定のサイレント損失が発生する場合がある |
| CSCvn25014 | bgp | BGP c-mroutes の C シグナリングを使用して mVPN オーバーレイのサポートを追加する |
| CSCvn28983 | cat6000-hw-fwding | C6800-32P10G-XL - ルータ MAC が DFC の EARL2 に存在しない |
| CSCvn38590 | polaris-cts | ACE の欠落または不完全エラーにより、CTS ポリシーのダウンロードが失敗する |
| CSCvn38893 | cat6000-hw-fwding | Cat68k CEF 隣接関係テーブルが枯渇する |

| | | |
|----------------------------|------------------|---|
| CSCvn49823 | cat6000-snmp | OID SmonVlanIdStatsTable のポーリング時に SNMP によりウォッチドッグがクラッシュする |
| CSCvn55765 | cat6000-l2-mcast | %UTIL-3-TREE:cat6k のデータ構造エラー |
| CSCvn72973 | polaris-cts | デバイスが「cts role-based enforcement」でクラッシュする |
| CSCvo05604 | cat6000-dot1x | ISE サービステンプレート処理でクラッシュする |
| CSCvo46820 | cat6k-vs-infra | 一部の VSL は「probe_wait」状態になり、SUP ではスイッチオーバー後に「軽微なエラー」が発生する |

リリース 15.5(1)SY2 の不具合

リリース 15.5(1)SY2 の未解決の不具合

| 識別子 | コンポーネント | 説明 |
|------------|--------------|--|
| CSCvm01965 | cat6000-span | ERSPAN TX のみパケットを受信せず、RX のみ TX パケットと RX パケットの両方を受信する |

リリース 15.5(1)SY2 で解決済みの不具合

| 識別子 | コンポーネント | 説明 |
|------------|-------------------|---|
| CSCvj04264 | cat6000-l2 | ストーム制御の設定が物理インターフェイスに伝搬されない |
| CSCvj33085 | cat6000-fabric | read sw カウンタでスイッチがクラッシュする |
| CSCuy25398 | cat6000-firmware | ポートステータスの変更後に、6880x がクラッシュする |
| CSCvb69966 | ethernet-lldp | LLDP プロトコルプロセスでのメモリリーク |
| CSCvi10935 | cat6000-firmware | Sup2T/6T- CTS 対応インターフェイスが、トレースバックで断続的にダウンする - 15.3(1)SY2 |
| CSCvi74405 | cat6k-vs-infra | Sup2T ベースの 6ks または 6880 スイッチのポートは、ソフトウェアアップグレード後もダウンしたままになる場合がある |
| CSCvj22514 | IP:ACL | IPV6 リンクローカルアドレスでは Telnet/ssh が拒否される |
| CSCvj28680 | cat6000-1tl | VSS 40gig リンクで DHCP Discover と DHCP Request がランダムに重複する |
| CSCvk10393 | cat6000-dot1x | clear mac stale-static address でクラッシュする |
| CSCvk68167 | cat6000-mcast | インターフェイスのバウンス時にメモリの破損が発生する |
| CSCvh22593 | cat6000-l2-mcast | MLD スヌーピングの EHT 制限が適用されない |
| CSCvi20960 | accsw-fex | 6800 のコンソールでの CDP パケットダンプ |
| CSCvi57667 | cat6000 | SUP2T から ASA モジュールをセッション化できない |
| CSCvi90601 | cat6000-hw-fwding | Cat6500:cfc が設置されたモジュールは、リモートコマンド mod 3 show platform hardware earl statistics でリセットされる |
| CSCvj02398 | cat6000-l2 | ポートチャネルのストーム制御設定が不整合 |
| CSCvj11676 | cat6000-l2-mcast | PIM プロセスで生じたウォッチドッグにより、6513/ VS-SUP2T-10G がクラッシュする |
| CSCvk28411 | cat6000-firmware | 10 GB SFP および QSFP は、show interface status で「no connector」と表示される |
| CSCvk37681 | sisf | 「no interface port-channel」コマンド後に C6807-XL-S2T-BUN がクラッシュする |
| CSCvh22583 | cat6000-l2-mcast | 時間が経過したエントリを失効させる EHT Ager が実装される |
| CSCvk54610 | cat6000-routing | SVI の静的 MAC アドレスエントリが、SVI が削除された場合でも存在する |
| CSCvm27795 | cat6000-mpls | 「ip cef accounting non-recursive」が有効になっている 6500 で MPLS ラベルが誤って設定される |
| CSCvj29126 | aaa | デバイスに有効な PAC がある場合でも、ネットワーク上の RADIUS クライアントは CTS から PAC キーを要求できない |
| CSCvi99432 | cat6000-hw-fwding | CAT6:VMAC が重複しているため、一時的な状態にある Earl から HSRP の静的 RMAC/VMAC が削除される |

| 識別子 | コンポーネント | 説明 |
|----------------------------|------------------|---|
| CSCvh66758 | flexible-netflow | FNF による大容量バッファの枯渇 |
| CSCvj78871 | cat6000-l2fib | ISSU_ERROR-SW1-3-MSG_MTU:ISSU L3 Manager Client(6022):クライアントはメッセージ 12 の MTU を取得できない |
| CSCvk73821 | cat6000 cm | リロード、SSO および ACL の変更後に ACL スケールのセットアップで「CM main thrd」含む CPUHOG が示される |

リリース 15.5(1)SY1 の不具合

リリース 15.5(1)SY1 の未解決の不具合

| 識別子 | コンポーネント | 説明 |
|----------------------------|--------------|---|
| CSCve22732 | cat6000-diag | TestL3TcamMonitoring が、1/1 の 1G トランシーバを使用する T2 および IPv4/IPv6 ルートに沿ったトラフィックで失敗する |
| CSCvi33424 | cat6000-docs | 15.5(1)SY から 15.5(1)SY1 イメージへの ISSU を実行する前にすべての LISP/SDA 設定が削除される |

リリース 15.5(1)SY1 で解決済みの不具合

| 識別子 | コンポーネント | 説明 |
|----------------------------|-------------------|--|
| CSCvc98461 | cat6000-acl | IPv6 ND rguard ポリシーにより dhcp スヌーピングが中断する |
| CSCvf56977 | cat6000-acl | dACL の ACL TCAM で ACL エントリが重複する |
| CSCvf39985 | cat6000-firmware | サードパーティ製スイッチで 6880X アップリンクがダウンしたままになる |
| CSCvf61464 | cat6000-firmware | 連続リロード時にサードパーティ製スイッチで 6880X アップリンクがダウンしたままになる |
| CSCvd65374 | cat6000-hw-fwding | CDP ネイバーは、サブインターフェイスの maximum-vlan vlan-id を default から any に変更すると非表示になる |
| CSCvc49765 | cat6000-l2-mcast | VPLS 回線を通過するときに、6500//SUP2T マルチキャストストリームがドロップされる |
| CSCvf34391 | cat6000-l2-mcast | トレースバック: MCVPLS で Quadsup-ICS にメモリが保持される |
| CSCvf35279 | cat6000-ltl | ポートで OIR を実行中に quadsup Sup2t について UDLD err-disabled が発生する |
| CSCve33442 | cat6000-mpls | ルーテッド VPLS: ダイレクト DHCP クライアントは、L3VPN を介して到達可能な DHCP サーバーから IP を取得できない |
| CSCve27925 | cat6000-mcast | ポート削除のコールバックが欠落しているため、LTL は PNDG 状態のままになる |
| CSCve84812 | cat6000-mcast | プラットフォームのマルチキャスト転送高速リダイレクトの設定でスイッチがクラッシュする |
| CSCvf53685 | cat6000-mcast | 仮想インターフェイスから VLAN を削除した後に Catalyst 6840-X がクラッシュする |
| CSCvf24298 | cat6000-netflow | FNF を使用してトンネルを再設定するときに shared_label でクラッシュが発生する |
| CSCvf48113 | cat6000-qos | 6716/6816 wr-queue コマンドがポートグループメンバーと正しく同期されない |
| CSCvc59675 | cat6k-vs-infra | マルチキャストトラフィックがハードウェアとソフトウェアの両方で同時にスイッチングされる |
| CSCvh92805 | fib | Crash@show_cef_broker_command(0x4d3cf00)+0x4e |
| CSCvd35137 | cat6000-env | Sup6T でネストされたクラッシュが発生し、スイッチが再起動せずにハングする可能性がある |
| CSCvd83170 | cat6000-hw-fwding | 6500sup2t VSS: VPLS を介して学習された MAC アドレスは早期にタイムアウトする |

| 識別子 | コンポーネント | 説明 |
|------------|-------------------|--|
| CSCvd65374 | cat6000-hw-fwding | CDP ネイバーは、サブインターフェイスの maximum-vlan vlan-id を default から any に変更すると非表示になる |
| CSCuz63959 | cat6000-firmware | GLC-LH-SMD はリンクアップできない |
| CSCvb94345 | cat6000-firmware | TestL3TcamMonitoring が失敗したため、SUP がクラッシュする |
| CSCvd07970 | cat6000-l2-infra | 6880「flowcontorl send off」コマンドが show run から消える |
| CSCvc49765 | cat6000-l2-mcast | VPLS 回線を通過するときに、6500//SUP2T マルチキャストストリームがドロップされる |
| CSCvc59675 | cat6k-vs-infra | マルチキャストトラフィックがハードウェアとソフトウェアの両方で同時にスイッチングされる |
| CSCvd46498 | ip | ARP と CEF の間の不一致により、Cat6K のパケットドロップが断続的に発生する |
| CSCsq42459 | os | CPU しきい値の低下に関するログメッセージがない |
| CSCvd35070 | tcl-bleeding | すべての TTY が使用されている場合に TCLSH を使用してスクリプトを実行すると、クラッシュする |

リリース 15.5(1)SY の不具合

リリース 15.5(1)SY の未解決の不具合

| 識別子 | コンポーネント | 説明 |
|------------|-------------------|--|
| CSCvd35137 | cat6000-env | Sup6T でネストされたクラッシュが発生し、スイッチが再起動せずにハングする可能性がある |
| CSCvd83170 | cat6000-hw-fwding | 6500sup2t VSS:VPLS を介して学習された MAC アドレスは早期にタイムアウトする |
| CSCvd65374 | cat6000-hw-fwding | CDP ネイバーは、サブインターフェイスの maximum-vlan vlan-id を default から any に変更すると非表示になる |
| CSCuz63959 | cat6000-firmware | GLC-LH-SMD はリンクアップできない |
| CSCvb94345 | cat6000-firmware | TestL3TcamMonitoring が失敗したため、SUP がクラッシュする |
| CSCvd07970 | cat6000-l2-infra | 6880「flowcontorl send off」コマンドが show run から消える |
| CSCvc49765 | cat6000-l2-mcast | VPLS 回線を通過するときに、6500//SUP2T マルチキャストストリームがドロップされる |
| CSCvc59675 | cat6k-vs-infra | マルチキャストトラフィックがハードウェアとソフトウェアの両方で同時にスイッチングされる |
| CSCvd46498 | ip | ARP と CEF の間の不一致により、Cat6K のパケットドロップが断続的に発生する |
| CSCsq42459 | os | CPU しきい値の低下に関するログメッセージがない |
| CSCvd35070 | tcl-bleeding | すべての TTY が使用されている場合に TCLSH を使用してスクリプトを実行すると、クラッシュする |

トラブルシューティング

ここでは、Catalyst 6500 シリーズ スイッチの設定に関するトラブルシューティングについて取り上げます。

- システムのトラブルシューティング (73 ページ)
- モジュールのトラブルシューティング (73 ページ)
- その他のトラブルシューティング情報 (73 ページ)

システムのトラブルシューティング

ここでは、システム レベルの問題のトラブルシューティングについて取り上げます。

- システムが起動しパワーオン診断を実行するときは、スイッチをリセットしないでください。
- アクティブなスーパーバイザエンジンから冗長なスーパーバイザエンジンへのスイッチオーバーを開始した後、または動作中のスイッチに冗長なスーパーバイザエンジンをインサートした場合は常に、スーパーバイザエンジンが同期して、すべてのモジュールがオンラインになるまで待機してから、モジュールまたはスーパーバイザエンジンの取り外しや取り付けまたは別のスイッチオーバーを実行します。
- 速度が **auto** に設定されているインターフェイスが、速度が固定値に設定されている別のインターフェイスに接続されている場合は、速度が半二重の固定値に設定されているインターフェイスを設定します。または、両方のインターフェイスを固定値の速度と全二重に設定することもできます。

モジュールのトラブルシューティング

ここでは、モジュールに関する問題のトラブルシューティングについて取り上げます。

- モジュールをシャーシにホットインサートするときは、必ずモジュールの前面にあるイジェクトレバーを使用して、バックプレーンピンを正しく装着してください。イジェクトレバーを使用せずにモジュールをインサートすると、スーパーバイザ エンジンにモジュールに関する不正なメッセージが表示されることがあります。モジュールの設置手順については、『Catalyst 6500 Series Module Installation Guide』を参照してください。
- デュプレックスがエンドステーションまたは別のネットワークングデバイスに自動ネゴシエーションするよう設定されたインターフェイスを接続するときは、もう一方のデバイスでも自動ネゴシエーションが設定されていることを必ず確認してください。もう一方のデバイスに自動ネゴシエーションが設定されていない場合、自動ネゴシエーションするよう設定されたポートが半二重モードのままとなり、これによりデュプレックスの不一致が発生してパケット損失やレイトコリジョン、およびリンクでのラインエラーが発生する場合があります。

その他のトラブルシューティング情報

その他のトラブルシューティング情報については、次の URL にある資料を参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/switches/catalyst-6500-series-switches/tsd-products-support-troubleshoot-and-alerts.html>

注意事項

本ソフトウェア ライセンスに関連する通知内容を以下に示します。

OpenSSL/Open SSL Project

本製品には、OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>) で使用するために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。

本製品には、Eric Young 氏 (eay@cryptsoft.com) によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

本製品には、Tim Hudson 氏 (tjh@cryptsoft.com) によって作成されたソフトウェアが含まれています。

License Issues

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License:

Copyright © 1998-2007 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: “This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)”.
4. The names “OpenSSL Toolkit” and “OpenSSL Project” must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called “OpenSSL” nor may “OpenSSL” appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
“This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)”.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT “AS IS” AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT

LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

本製品には、Eric Young 氏 (eay@cryptsoft.com) によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。本製品には、Tim Hudson 氏 (tjh@cryptsoft.com) によって作成されたソフトウェアが含まれています。

Original SSLeay License:

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com). All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

“This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)”.

The word ‘cryptographic’ can be left out if the routines from the library being used are not cryptography-related.

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: “This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)”.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The license and distribution terms for any publicly available version or derivative of this code cannot be changed, i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution license [including the GNU Public License.]

通信、サービス、およびその他の情報

- シスコからタイムリーな関連情報を受け取るには、[Cisco Profile Manager](#) でサインアップしてください。
- 重要な技術によりビジネスに必要な影響を与えるには、[シスコ サービス](#) にアクセスしてください。
- サービス リクエストを送信するには、[シスコ サポート](#) にアクセスしてください。
- 安全で検証済みのエンタープライズクラスのアプリケーション、製品、ソリューション、およびサービスを探して参照するには、[Cisco Marketplace](#) にアクセスしてください。
- 一般的なネットワーキング、トレーニング、認定関連の出版物を入手するには、[Cisco Press](#) にアクセスしてください。
- 特定の製品または製品ファミリの保証情報を探すには、[Cisco Warranty Finder](#) にアクセスしてください。

Cisco バグ検索ツール

[Cisco Bug Search Tool \(BST\)](#) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理する [Cisco バグ追跡システム](#) へのゲートウェイとして機能する、**Web** ベースのツールです。BST は、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

このドキュメントは、『Catalyst 6500 Series Cisco IOS Software Configuration Guide』と併せて参照することをお勧めします。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: www.cisco.com/go/trademarks. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

©2023, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。